

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201010100		事業の種類	5	
年度	1	事務事業名	数量調整円滑化推進事業		予算事業名	数量調整円滑化推進事業	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
		施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸	
		取組み事項	農業経営の安定化と後継者の育成を図る		担当者名	室井 良太	
			実施計画への記載		無	主要事業の指定	
						無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生産者団体及び行政が一体となって行う生産調整推進活動を通じて水田営農の効率化を実現するとともに地域農業の産地を形成する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		米の生産数量(作付面積)を調整し、転作作物を作付けすることにより地域農業の産地を形成する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	水稲作付面積	ha	190	186	187	189
	転作実施面積	ha	225	219	206	220

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.724	0.612	85	0.528	86	0.472	89	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	5,958,944	4,919,348	83	4,276,629	87	3,888,045	91	
	事業費	159,000	149,000	94	145,938	98	189,000	130	
	合計	6,117,944	5,068,348	83	4,422,567	87	4,077,045	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	119,000	119,000	100	102,000	86	158,400	155	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,998,944	4,949,348	83	4,320,567	87	3,918,645	91	
	合計	6,117,944	5,068,348	83	4,422,567	87	4,077,045	92	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		水稲作付面積							
指標説明(式)		相生市における作付面積							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
ha	目標	202	198	98.0	198	100.0	189	95.5	
	実績	190	186	97.9	187	100.5			
指標名2		転作実施面積							
指標説明(式)		相生市における作付面積							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
ha	目標	220	230	104.5	220	95.7	220	100.0	
	実績	225	219	97.3	206	94.1			

【効率性】

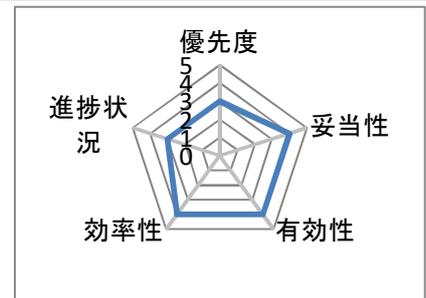
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	国から配分される米生産目標数値は達成した。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	米の作付面積調整により、米価を維持し農地の保全が図られた。	
効率性	手段の最適性	農業経営を安定させるため経営所得安定対策を法令に基づき行った。	4
	執行体制の効率性	営農知識のあるJAや赤相農業共済組合といった関係機関と連携し効率的に行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	経営所得安定対策に協力する必要がある。



配点	32.5
総合評価	23

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	営農計画書の様式変更および農会長提出書類を見直し、事務の簡略化と農家負担軽減を図る。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	高収益作物等拡大加算や転換作物拡大加算の新制度の導入に伴い、県やJA、担い手等と更なる連携を図る。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201010200	事業の種類	5	
年度	1	事務事業名	夢ある農村づくり推進事業	予算事業名	夢ある農村づくり推進事業	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	建設農林部農林水産課	
		施策名(中)	農林水産業の振興を図る	担当課長	長治 宏幸	
		取組み事項	農業経営の安定化と後継者の育成を図る	担当者名	宇野 智子	
			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		夢ある農村づくり推進事業				
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家・集落				
	誰(何)を対象として	農家・集落				
	意図(どのような状態にしたいのか)	地元農産物・特産品の生産拡大、販路拡大等の支援や、集落が主体的に行う地域活動を支援することで、地域農業の活性化を図る。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市の特産品の創出や農産物直売所を維持するため、加工・販売施設等の整備、新商品開発支援や各集落活動を支援することで、農業振興を図る。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	産地づくり補助	団体	3	5	5	8
	集落活性化補助	集落	2	2	1	4

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.400	0.440	110	0.424	96	0.500	118	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	3,458,312	3,640,700	105	3,508,069	96	4,097,961	117	
	事業費	2,785,120	2,742,600	98	2,779,000	101	2,800,000	101	
	合計	6,243,432	6,383,300	102	6,287,069	98	6,897,961	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,243,432	6,383,300	102	6,287,069	98	6,897,961	110	
	合計	6,243,432	6,383,300	102	6,287,069	98	6,897,961	110	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		産地づくり補助団体							
指標説明(式)		産地づくり補助団体							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
団体	目標	3	8	266.7	8	100.0	8	100.0	
	実績	3	5	166.7	5	100.0			
指標名2		女性農業者団体イベント出店件数							
指標説明(式)		イベント出店件数 (市内 + 市外)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	20	20	100.0	21	105.0	21	100.0	
	実績	19	20	105.3	17	85.0			

【効率性】

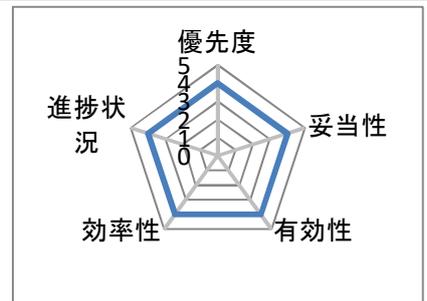
指標名1		新商品開発件数(累計)							
指標説明(式)		新商品開発件数(累計)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
品	目標	15	15	100.0	17	113.3	17	100.0	
	実績	13	15	115.4	15	100.0			
指標名2		産地づくり補助団体1件あたりにかかる事業費							
指標説明(式)		産地づくり事業費 ÷ 補助団体							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	155,000	155,000	100.0	155,000	100.0	155,000	100.0	
	実績	568,373	328,800	57.8	374,000	113.7			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	女性農業者団体や各種団体がイベント参加により都市と農村との地域交流活動を行い、農業振興と市のPR活動に一定の成果を得られている。	4
	成果の向上	高齢化、人手不足のため、加工品の製造工程に機械を導入することにより、作業効率の向上や、生産拡大、コスト削減が図れ、農業経営体の育成につながった。	
効率性	執行体制の効率性	安定した商品供給や生産拡大ができるよう、県普及センターやJA等関係機関と連携を図った。	4
	手段の最適性	市として特産品となる新商品開発に携わることは適正な手法である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	対象団体の全てが活用していない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	有効に制度を活用してもらえるよう関係者への周知を図る。

配点	32.5
総合評価	26

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	特産品など地域資源の持続強化と、生産組織の高齢化に伴う今後の組織維持に向けての検討が必要である。				
見直事項	農業振興のため、細やかな支援ができるようニーズに沿った補助メニューを設置していたが、実績を踏まえ重点的に取り組む施策へ補助メニューの見直しを図る。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201010400		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	農業金融制度利子補給事業		予算事業名	農業金融制度利子補給事業 優先度 3	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
		施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸 担当者名 宇野 智子	
		取組み事項	農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家(認定農業者)					
	誰(何)を対象として	農家(認定農業者)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	意欲ある農業者の安定経営を図ることを目的とする。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		融資機関が農業者(認定農業者)に貸し付けた資金について利子補給を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	農業近代化資金	件	0	0	0	1
	農業経営基盤強化資金	件	1	1	0	2

## 3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.064	0.064	100	0.064	100	0.064	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	865,064	845,516	98	847,669	100	829,269	98	
	事業費	1,512	0	0	258	-	45,000	17,442	
	合計	866,576	845,516	98	847,927	100	874,269	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	866,576	845,516	98	847,927	100	874,269	103	
合計		866,576	845,516	98	847,927	100	874,269	103	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家の利用件数							
指標説明(式)		借入件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	4	3	75.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	1	1	100.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

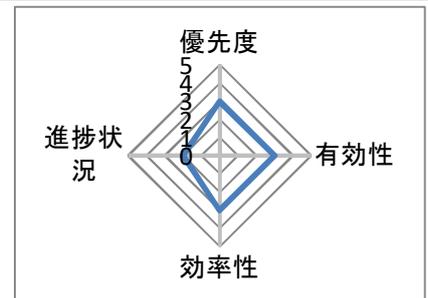
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業施設の整備に伴う借入を行う農家が少なかった。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	活用した農業者においては、運転資金として効果があった。	
効率性	手段の最適性	農業者への利子補給を補助金として実施するのは効率的である。	3
	執行体制の効率性	県の随伴助成もあり簡素化はされている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	利用者は少ないものの概ね計画通り進捗した。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	認定農業者が少なく、農業施設整備の頻度がそれほど多くない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	制度周知により、農家が設備投資を行いやすい環境を整える。

配点	25
総合評価	14

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	縮小

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201010500		事業の種類	2		
年度	1	事務事業名	上松農業共同作業所管理事業		予算事業名	上松農業共同作業所管理事業		
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
		施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸	担当者名	室井 良太
		取組み事項	農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		上松農業共同作業所管理運営事業						
根拠法規及び関連法規		相生市立上松農業共同作業所の設置及び管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家						
	誰(何)を対象として	農家						
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		地域農業の振興のため、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者のために共同で農機具等を使用する施設の管理を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	乾燥調整量	袋	946	684	711	1,000

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.036	0.036	100	0.036	100	0.036	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	648,960	637,364	98	640,749	101	619,353	97	
	事業費	10,160	45,450	447	47,830	105	195,000	408	
	合計	659,120	682,814	104	688,579	101	814,353	118	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	659,120	682,814	104	688,579	101	814,353	118	
合計	659,120	682,814	104	688,579	101	814,353	118		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		乾燥調整量							
指標説明(式)		地元の農家等が持ち込んだ糶摺り等の量							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
袋	目標	1,000	1,000	100.0	1,000	100.0	1,000	100.0	
	実績	946	684	72.3	711	103.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

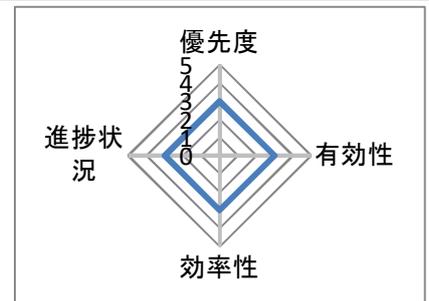
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ブロックローテーションの加減で安定的に利用ができないときがある。	3
	組織運営・適正管理	現状の施設規模の範囲内で、最大限の作業を行った。	
効率性	執行体制の効率性	指定管理者による運営とすることで効率的に施設を管理している。	3
	コストの節減	指定管理者による運営とすることでコストの削減が図れている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201010600		事業の種類	6			
年度	1	事務事業名	土地改良事業		予算事業名	土地改良事業		優先度	5
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	長治 宏幸		担当者名	船曳 直志
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る			実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名		その他農林水産(市単土地改良事業)			多面的機能交付金事業				
		ため池整備事業(点検)			ため池整備事業(調査設計)				
		ため池整備事業			ため池廃止事業				
根拠法規及び関連法規		相生市土地改良事業分担金徴収条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農地受益者							
	誰(何)を対象として	農業用施設							
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業用施設の維持、修繕、改修をする。							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		農業用施設の維持、修繕、改修をする。 ため池調査計画事業の実施(定期点検・耐震化対策整備計画策定) 県営ため池整備事業				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	市単独土地改良工事	地区	16	12	14	7
	ため池耐震化整備計画	箇所	1	2		
	ため池定期点検	箇所		57	12	2
	県営ため池整備事業	箇所				1

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.880	1.256	143	1.424	113	2.176	153	
	臨時職員	0.080		0	0.080	-	0.080	100	
支出内訳	人件費	7,373,672	9,706,844	132	11,102,069	114	16,779,893	151	
	事業費	54,453,333	62,457,239	115	43,420,069	70	67,690,320	156	
	合計	61,827,005	72,164,083	117	54,522,138	76	84,470,213	155	
財源内訳	国庫支出金	36,524,540	39,144,540	107	23,862,269	61	31,615,900	132	
	県支出金	5,237,769	10,237,769	195	5,617,179	55	6,712,943	120	
	市債			-		-		-	
	その他	1,465,488	1,131,840	77	1,933,112	171	1,428,000	74	
	一般財源	18,599,208	21,649,934	116	23,109,578	107	44,713,370	193	
合計	61,827,005	72,164,083	117	54,522,138	76	84,470,213	155		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施率							
指標説明(式)		工事実施件数÷工事計画件数×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.5	98.1	99.6	100	101.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

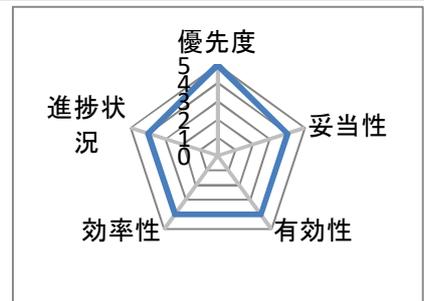
指標名1		年度内予算執行額							
指標説明(式)		年度内予算執行額÷年度内予算額×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.5	98.1	99.6	100	101.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	農業用施設の機能回復する。	4
効率性	コストの節減	見積合せ及び一般競争入札により削減が図られている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	多面的機能支払交付金事業とのすみ分けを明確にする



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	要望案件について、地元農会等と協議を行い、事業主体を一律に市ではなく、地元にも担ってもらう。

配点	32.5
総合評価	28

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	防災減災の観点から、事業に優先順位をつけて、整備をしていく。				
見直事項					
新規事項	県営ため池整備事業				
方向	継続	成果	拡大	総コスト	拡大

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201010800		事業の種類	0	
年度	1	事務事業名	農業委員会事務		予算事業名	農業委員会費事務経費 優先度 -	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	農業委員会農業委員会		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸	担当者名	室井 良太
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		農地法、農業委員会等に関する法律					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業及び農地にかかわる市民					
	誰(何)を対象として	農業及び農地にかかわる市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農地の転用及び権利移転等の適正化、遊休農地の発生防止並びに担い手農業者への農地の集積・集約化等の推進					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		1. 農地の売買・貸し借りその権利移動等、農地法に定められた規定に基づく事務 2. 農業者年金受給・加入関係書類の受理等の農業者年金基金法に基づく事務 3. 農業委員会委員選挙人名簿登載申請書に基づく事務					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	農地法関係事務	件	96	107	69	100	
	農業経営基盤強化促進法関係事務	件	195	158	182	150	
	農業者年金関係事務	件	11	12	12	12	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.735	1.744	237	0.980	56	1,040	106	
	臨時職員	1.000		0	1.000	-	0.774	77	
支出内訳	人件費	8,677,842	13,334,636	154	10,166,909	76	9,277,929	91	
	事業費	8,161,396	9,333,814	114	8,538,463	91	8,885,000	104	
	合計	16,839,238	22,668,450	135	18,705,372	83	18,162,929	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	2,618,569	-	3,248,400	124	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	16,839,238	22,668,450	135	16,086,803	71	14,914,529	93	
合計	16,839,238	22,668,450	135	18,705,372	83	18,162,929	97		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		遊休農地面積							
指標説明(式)		農地の利用状況調査により把握した遊休農地面積							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	5.1	2.9	56.9	3.5	120.7	3.5	100.0	
	実績	3.0	3.9	130.0	3.9	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

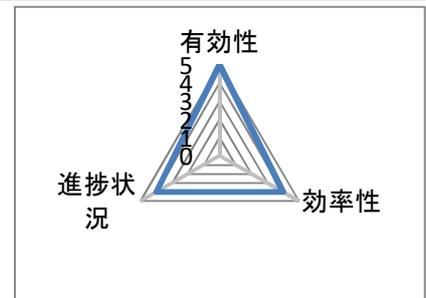
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	全国農地ナビの導入により、市内外の農地の情報が一元化され、インターネットを活用して全国から農地の受け手が希望の農地を探せるようになった。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	法令に基づく適正な事務の執行を図ることで、農地の保全が図られている。	
効率性	コストの節減	県農業会議の協力の下、周辺他市町の農業委員会と共同で研修会を開催し、コストの節減を図った。	4
	執行体制の効率性	市の農林水産担当業務との兼務により、効率的な業務の執行が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	農家農業者等の利益代表者機関として機能を果たした。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	新体制における効果的な活動体制の確立。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	農地利用最適化推進委員の計画的・効果的な活動内容の検討。

配点	32.5
総合評価	13

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201011000		事業の種類	3	
年度	1	事務事業名	農業総務費事務経費		予算事業名	農業総務費事務経費 優先度 3	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
		施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸 担当者名 室井 良太	
		取組み事項	農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農会長ほか、各種団体との連携強化					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適切な農業行政の推進					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		農業行政推進のための基礎的な業務				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	農家戸数	戸	933	914	920	910

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.216	0.292	135	0.332	114	0.264	80	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,038,200	2,540,468	125	2,828,189	111	2,328,669	82	
	事業費	5,728,580	5,699,860	99	5,690,720	100	4,903,000	86	
	合計	7,766,780	8,240,328	106	8,518,909	103	7,231,669	85	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,766,780	8,240,328	106	8,518,909	103	7,231,669	85	
合計	7,766,780	8,240,328	106	8,518,909	103	7,231,669	85		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家戸数							
指標説明(式)		農家戸数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
戸	目標	940	920	97.9	910	98.9	910	100.0	
	実績	933	914	98.0	920	100.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

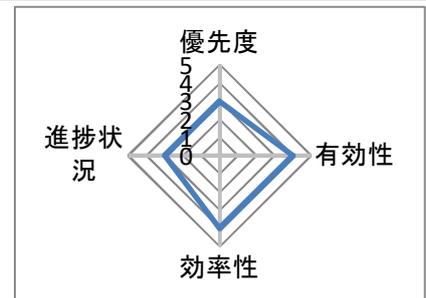
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業行政情報を各農会への適時提供できるよう図った。	4
	組織運営・適正管理	円滑な農業行政が図れるよう各種団体と連絡を密にし、業務に当たった。	
効率性	コストの節減	赤相農業共済事務組合(一部事務組合)により、コスト節減が図られている。	4
	執行体制の効率性	農会長と連携しながら、農業振興を図ることで、効率的な情報収集や農業関係情報の周知が図られた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	総農家数が減少しているなか、各農会との効率的な調整・連携による既存農家や新規就農者の確保が必須となっている。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	各農会長や、農家・新規就農者との良好な調整・連携体制の構築を図る。

配点	25
総合評価	17

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201011200		事業の種類	1	
年度	1	事務事業名	農業振興等奨励事業		予算事業名	農業振興等奨励事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸	担当者名	室井 良太
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		新規就農者確保事業		集落営農組織高度化促進事業			
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	経営所得の安定化や担い手の育成					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業の振興と不耕作地の解消を図る					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		経営所得安定対策の推進等のための事務費 認定新規就農者の拡大				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	経営所得安定対策加入者	戸	428	92	95	100
	認定新規就農者	人	1	2	1	4
	集落営農の法人化			0	0	1
	集落営農の組織化		1	0	0	0

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.252	0.280	111	0.236	84	0.208	88	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,316,048	2,451,260	106	2,118,749	86	1,908,837	90	
	事業費	11,856,640	28,205,380	238	16,249,000	58	10,588,000	65	
	合計	14,172,688	30,656,640	216	18,367,749	60	12,496,837	68	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,172,688	30,656,640	216	18,367,749	60	12,496,837	68	
合計	14,172,688	30,656,640	216	18,367,749	60	12,496,837	68		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		経営所得安定対策加入者							
指標説明(式)		経営所得安定対策への加入者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	500	500	100.0	100	20.0	100	100.0	
	実績	428	92	21.5	95	103.3			
指標名2		認定新規就農者							
指標説明(式)		市の基本構想に沿って新たに農業経営を開始する45歳未満の青年等							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3	7	233.3	4	57.1	4	100.0	
	実績	1	2	200.0	1	50.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

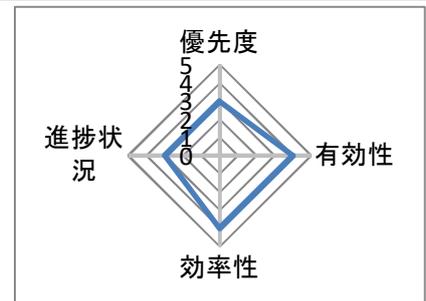
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	・農業経営を安定するため作付けに応じた交付を行った。 ・認定新規就農者の増加により、農業の担い手が育成された。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	自給率向上のため作付けに応じた交付を行った。	
効率性	手段の最適性	農業経営を安定させるため経営所得安定対策を法令等に基づき行った。	4
	執行体制の効率性	・経営所得安定対策を円滑に運営するためJA、農業委員会及び県と連携を図った。 ・県やJAと連携しながら、担い手の育成を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	各種申請様式や制度周知など農家の負担が大きくなっている。



配点	25
総合評価	17

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新規就農者の定着化及び増加を図るため、きめ細やかな連絡体系を確立する。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	米の直接支払交付金の廃止及び地力増進作物景観形成作物の直接支払交付金の廃止に伴った、相生市の農業の現状に即した土地利用型農業の安定的な確保				
見直事項					
新規事項	米の直接支払交付金の廃止に伴い、市内農業の現状に合った作物単価の設定。				
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201011300		事業の種類	5		
年度	1	事務事業名	中山間地域等直接支払事業		予算事業名	中山間地域等直接支払事業		
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
		施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸	担当者名	室井 良太
		取組み事項	農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
		実施計画事業名						
		根拠法規及び関連法規	中山間地域直接支払事業補助要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家						
	誰(何)を対象として	農家						
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業生産条件の不利な棚田の保全のため、補助を行う。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		国・県の補助金を活用し、補助事業を実施することにより、地域農業の振興を図る					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	事業実施集落	地区	6	6	6	6	

## 3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.212	0.204	96	0.212	104	0.204	96	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	2,007,328	1,886,276	94	1,941,389	103	1,878,849	97	
	事業費	2,832,984	2,815,894	99	2,844,672	101	2,879,000	101	
	合計	4,840,312	4,702,170	97	4,786,061	102	4,757,849	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	2,103,385	2,105,079	100	2,062,079	98	2,083,768	101	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,736,927	2,597,091	95	2,723,982	105	2,674,081	98	
	合計	4,840,312	4,702,170	97	4,786,061	102	4,757,849	99	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業実施集落協定数							
指標説明(式)		事業実施集落協定数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
集落協定	目標	6	6	100.0	6	100.0	6	100.0	
	実績	6	6	100.0	6	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

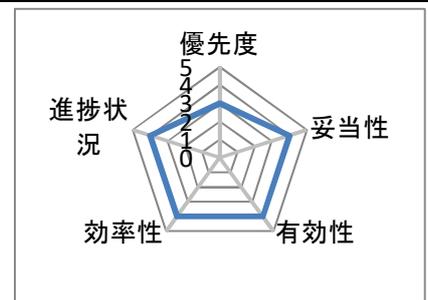
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集落協定参加者で共同取り組みを行うことで、一定の成果が得られた。	4
	市民サービス	山際の農地を管理することで集落内の環境保全が守られた。	
効率性	負担割合の適正化	各地域において中山間地域直接支払事業対象農地のうち必要最低限の農地について国の制度を活用している。	4
	手段の最適性	集落の農地を守るため集落で協定を結び保全活動を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	農地管理者の高齢化や担い手不足により集落の負担が大きい。



配点	32.5
総合評価	24

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市が適正に制度周知や利活用を促すことで、集落内での負担軽減を図る。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201020100		事業の種類	3	
年度	1	事務事業名	水産業振興費事務経費		予算事業名	水産業振興費事務経費 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸	担当者名	宇野 智子
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	漁業者数	人	52	50	49	50	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.016	0.020	125	0.020	100	0.020	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	494,600	518,420	105	522,509	101	499,401	96	
	事業費	130,000	85,640	66	147,640	172	283,000	192	
	合計	624,600	604,060	97	670,149	111	782,401	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	624,600	604,060	97	670,149	111	782,401	117	
合計	624,600	604,060	97	670,149	111	782,401	117		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		漁業経営体数							
指標説明(式)		漁業経営体数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
経営体	目標	25	25	100.0	25	100.0	25	100.0	
	実績	24	24	100.0	23	95.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

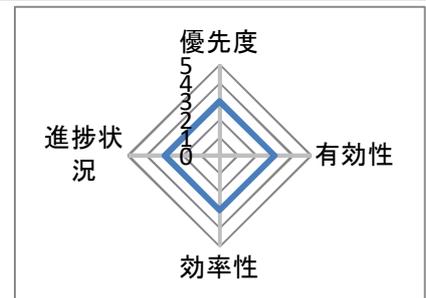
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者の安心した生活のため、漁業近代化資金の借入事務について適正な漁業行政を展開し、漁業者数を維持した。	3
効率性	執行体制の効率性	相生漁協と連携し、漁業行政を推進することができた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	出資以外の適切な事務分担の把握。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	出資を平成29年度で終えたことにより、事務の軽減に努める。

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	縮小

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201020200		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	水産業振興事業		予算事業名	水産業振興事業		優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	長治 宏幸		担当者名	宇野 智子
取組み事項		水産業経営の安定化を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		漁業経営構造改善事業							
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者							
	誰(何)を対象として	漁業者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者の安定経営を目的とする							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生カキの安心・安全をPRすることで販売促進を行うため、ノロウィルス等の検査や補助金の交付を行う。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	検査	回	24	24	24	24	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.068	0.068	100	0.048	71	0.052	108	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	895,936	875,252	98	729,429	83	739,305	101	
	事業費	15,560,000	21,846,000	140	6,815,000	31	1,000,000	15	
	合計	16,455,936	22,721,252	138	7,544,429	33	1,739,305	23	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	16,455,936	22,721,252	138	7,544,429	33	1,739,305	23	
合計	16,455,936	22,721,252	138	7,544,429	33	1,739,305	23		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ノロウィルス等検査実施回数							
指標説明(式)		ノロウィルス等検査実施回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	24	24	100.0	24	100.0	24	100.0	
	実績	24	24	100.0	24	100.0			
指標名2		補助金支出件数							
指標説明(式)		漁業者が設置・整備する施設に対し補助金を交付した件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0		0.0	
	実績	2	1	50.0		0.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

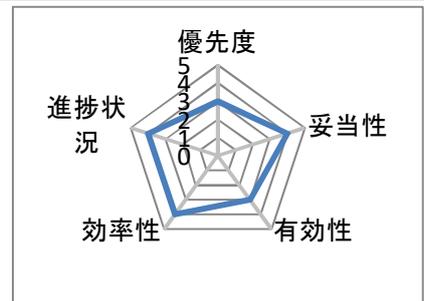
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	食の安全安心を求める市民の要望に応える事ができている。	3
	成果の向上	相生カキの生産振興により漁業後継者の育成や、漁業者の保護につながった。	
効率性	手段の最適性	定期的なウイルス検査や補助金交付はカキの品質確保の手段として適正である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	種カキの安定的な確保。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	施設整備等に係る補助事業を実施する。

配点	32.5
総合評価	23

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	県や周辺自治体及び漁業等関係団体と連携しながら安定的な種カキの確保手段を検討していく。				
見直事項	販売金額の増加に伴い、市の財政負担を軽減していけるような検討が必要である。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201020300		事業の種類	3			
年度	1	事務事業名	漁船保険補助事業		予算事業名	漁船保険補助事業		優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	長治 宏幸		担当者名	宇野 智子
取組み事項		水産業経営の安定化を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		漁船災害等補償法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者							
	誰(何)を対象として	漁業者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁船につき不慮の事故による損害の復旧を容易にすることで、漁業経営の安定経営を図る。							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁船保険に対する補助を行う					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	漁船保険加入者	隻	87	91	91	91	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	494,600	488,684	99	492,949	101	469,413	95	
	事業費	1,779,034	1,900,196	107	1,887,178	99	2,013,000	107	
	合計	2,273,634	2,388,880	105	2,380,127	100	2,482,413	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,273,634	2,388,880	105	2,380,127	100	2,482,413	104	
合計	2,273,634	2,388,880	105	2,380,127	100	2,482,413	104		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		一隻当たりの保険料額							
指標説明(式)		保険料額/隻							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	20,000	20,000	100.0	20000	100.0	20000	100.0	
	実績	20,449	20881	102.1	20738	99.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

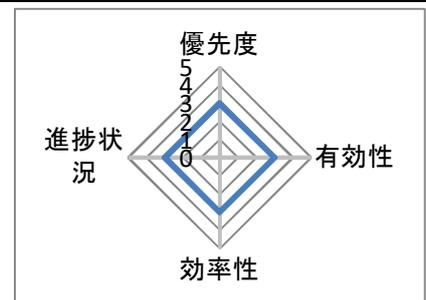
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者の安定経営を図っており成果としては概ね達成した。	3
	組織運営・適正管理	相生漁協が取りまとめ加入しているため適正に管理された。	
効率性	執行体制の効率性	漁業者の安定経営を図るため相生漁協と連携して取り組んだ。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	加入促進に向けた制度周知等が必要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	漁協との連携により制度周知を図る。

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	引き続き、継続加入者の確保と新規加入者増加にむけた取り組みの必要がある。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201020400		事業の種類	3		
年度	1	事務事業名	漁業近代化資金利子補給事業		予算事業名	漁業近代化資金利子補給事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸		担当者名	宇野 智子
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		漁業近代化資金融通法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者						
	誰(何)を対象として	漁業者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	低金利の同制度を活用することで、漁業者の資本装備の高度化及び経営の近代化を促進する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁業者が借り入れした資金に対して利子補給を行う					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	利子補給件数	人	19	20	14	14	

## 3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	494,600	488,684	99	492,949	101	469,413	95	
	事業費	540,689	453,800	84	252,202	56	328,000	130	
	合計	1,035,289	942,484	91	745,151	79	797,413	107	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,035,289	942,484	91	745,151	79	797,413	107	
合計	1,035,289	942,484	91	745,151	79	797,413	107		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給利用率							
指標説明(式)		利子補給利用者／漁業者(49名)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	15	20	133.3	20	100.0	20	100.0	
	実績	35	38	108.6	28	73.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

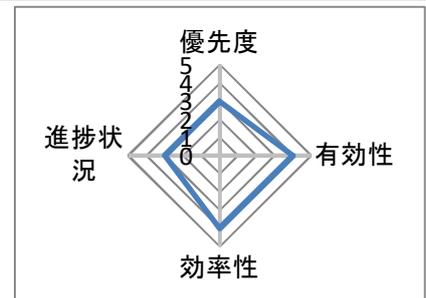
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業の活性化を図るため利子補給をすることで漁業者の経営の安定化が図れた。	4
	組織運営・適正管理	兵庫県漁連と連携し漁業者の経営を安定することができた。	
効率性	執行体制の効率性	漁業者の経営を安定するため相生漁協及び兵庫県漁連と連携を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	漁船の大型化、高度化に伴い設備負担が大きくなってきている。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者の負担軽減にむけた施策の在り方について関係団体と検討した。

配点	25
総合評価	17

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	引き続き、漁業者の負担軽減に向けた施策の在り方について、関係団体と検討していく必要がある。
見直事項	
新規事項	
方向	継続   成果   維持   総コスト   維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201020500		事業の種類	3			
年度	1	事務事業名	水産物市場管理事業		予算事業名	水産物市場管理事業		優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	長治 宏幸		担当者名	宇野 智子
取組み事項		水産業経営の安定化を図る			実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名		水産物市場整備事業							
根拠法規及び関連法規		相生市立水産物市場の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者							
	誰(何)を対象として	地域水産物及び特産品の振興と販売促進							
	意図(どのような状態にしたいのか)	担い手漁業者の確保及び育成を図る。							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		建物及び附帯設備の修繕等に対応するほか、指定管理者と連携し、水産物市場の適正かつ円滑な運営を図る。								
活動実績	項目	単位	29年度実績		30年度実績		1年度実績		2年度計画	
	修繕件数	件	4		5		6		4	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.068	0.068	100	0.108	159	0.048	44	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	895,936	875,252	98	1,172,829	134	709,317	60	
	事業費	636,366	2,161,996	340	1,064,722	49	3,250,000	305	
	合計	1,532,302	3,037,248	198	2,237,551	74	3,959,317	177	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,532,302	3,037,248	198	2,237,551	74	3,959,317	177	
合計	1,532,302	3,037,248	198	2,237,551	74	3,959,317	177		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		修繕件数							
指標説明(式)		水産物市場における修繕発注件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3	3	100.0	3	100.0	4	133.3	
	実績	4	5	125.0	6	120.0			
指標名2		集客数							
指標説明(式)		水産物市場年間利用客数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	66,000	66,000	100.0	66,000	100.0	66,000	100.0	
	実績	52,212	47,737	91.4	45,949	96.3			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

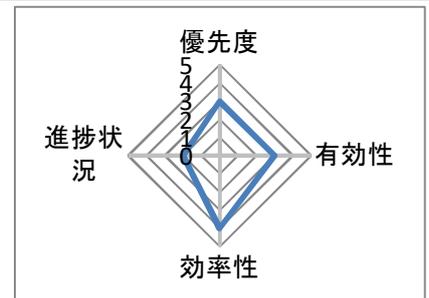
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集計方法の変更により利用客は減少しているが、売上は伸びている。	3
	組織運営・適正管理	水産物市場としての機能及び漁業者への貢献度は低い。	
効率性	コストの節減	指定管理者制度により委託料を無料としていることからコストの削減を図っている。	4
	執行体制の効率性	指定管理者制度を活用し、民間の経営ノウハウによる効率的な運営を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	県による港湾使用許可に関する指導については、是正を行った。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の維持修繕費について、計画的な執行によるコスト削減が必要。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	適切な指導を行い、指定管理者に対して適正な施設運営を求めていく。

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	施設の必要性も含め、市全体で施設の在り方を検討していく必要がある。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	縮小

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201030100		事業の種類	5			
年度	1	事務事業名	林業振興事業		予算事業名	林業振興事業		優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る			担当課長	長治 宏幸		担当者名	船曳 直志
取組み事項		林業の振興を図る			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	林業教室受講者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	林業製品の加工技術の取得							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		林業教室の補助金							
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画			
	補助金	団体	1	1	1	1			

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.072	0.092	128	0.148	161	0.148	100	
	臨時職員			-	0.004	-	0.004	100	
支出内訳	人件費	926,808	1,053,668	114	1,478,629	140	1,464,865	99	
	事業費	5,476,659	23,101,696	422	17,053,550	74	511,000	3	
	合計	6,403,467	24,155,364	377	18,532,179	77	1,975,865	11	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,403,467	24,155,364	377	18,532,179	77	1,975,865	11	
合計	6,403,467	24,155,364	377	18,532,179	77	1,975,865	11		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		林業教室の開催割合							
指標説明(式)		年間開催実績回数 ÷ 年間予定回数(60) × 100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	138	180	130.4	162	90.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

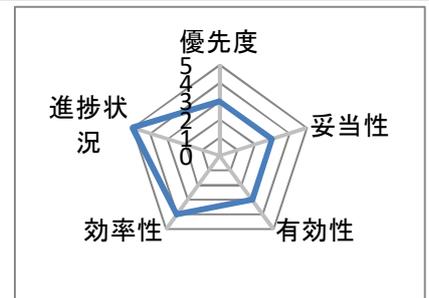
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標以上の達成をしている。	3
	市民サービス	参加者が固定化しつつある。	
効率性	負担割合の適正化	補助対象回数以上の教室開催を行っている。 (補助対象回数 60回 教室開催回数 97回)	4
	手段の最適性	林産物の活用及び地域産業の伝承と、その後継者育成のためには、有効な手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	補助対象以上に教室を開催している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	林研グループの高齢化



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	他の林業事業との連携

配点	32.5
総合評価	22.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	林研グループの活動を側面からサポートしていく。
見直事項	
新規事項	
方向	継続   成果   維持   総コスト   維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201040100		事業の種類	2	
年度	1	事務事業名	ふれあい公園管理事業		予算事業名	ふれあい公園管理事業 優先度 3	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
		施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸 担当者名 船曳 直志	
		取組み事項	交流拠点の活用とネットワーク化を促進する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	公園内の清掃及び除草					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		若狭野ふれあい公園の清掃、除草委託					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	園内清掃除草	件	1	1	1	1	

## 3 投入資源

インプット指標		会計区分			一般会計				事業費単位:円	備考
		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比		
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93		
	参事以下職員	0.072	0.044	61	0.036	82	0.036	100		
	臨時職員			-	0.008	-	0.008	100		
支出内訳	人件費	926,808	696,836	75	661,149	95	631,049	95		
	事業費	664,592	617,903	93	629,575	102	731,000	116		
	合計	1,591,400	1,314,739	83	1,290,724	98	1,362,049	106		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	1,591,400	1,314,739	83	1,290,724	98	1,362,049	106		
合計	1,591,400	1,314,739	83	1,290,724	98	1,362,049	106			

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		委託件数							
指標説明(式)		委託件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

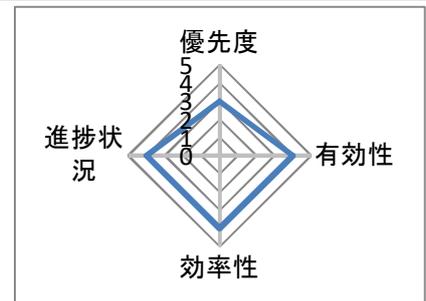
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公園整備、管理により一層の利活用が図られる。	4
	組織運営・適正管理	地元に委託し、管理することにより地元住民も地元の公園であるという意識が醸成され、公園利用に関しても関心が持てる。	
効率性	コストの節減	地元に清掃等を委託することにより、コスト縮減となっている。	4
	執行体制の効率性	十分効率的に行なわれている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	関係自治会により、管理はされているが、施設の老朽化が出はじめている。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	施設の適正管理を実施する。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	施設の有効活用を行い、地域活動の拠点として、安全安心して利用できる施設とする。
見直事項	
新規事項	
方向	継続   成果   維持   総コスト   維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040201050100		事業の種類	5	
年度	1	事務事業名	6次産業化ネットワーク活動事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
		施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸	担当者名
		取組み事項	地域特産物の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定
						無	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業者及び水産業者					
	誰(何)を対象として	6次産業化の取組					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域資源を活用した新たな付加価値を生み出すことで、収益力を高め、地産地消として地域の活性化や雇用の創出を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化を推進するための計画策定(改定を含む)</li> <li>・6次産業化の取組に対する助成</li> </ul>				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	補助事業の実施	件	0	0	0	0

## 3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	432,856	429,212	99	433,829	101	409,437	94	
	事業費			-		-		-	
	合計	432,856	429,212	99	433,829	101	409,437	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	432,856	429,212	99	433,829	101	409,437	94	
	合計	432,856	429,212	99	433,829	101	409,437	94	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		6次産業化に取り組む事業者数							
指標説明(式)		6次産業化・地産地消法第5条に基づく総合化事業計画の認定を受け、6次産業化に取り組んでいる事業者							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	2	100.0	1	50.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2		6次産業化の取組で生産販売する商品数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
品	目標	13	15	115.4	15	100.0	15	100.0	
	実績	13	13	100.0	13	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

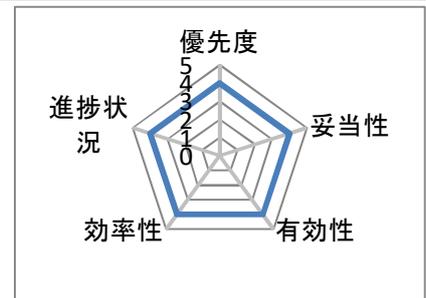
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成27年8月11日に制定した「相生市における6次産業化及び地産地消を推進するための戦略」に基づいて、メロンシャーベットやゆず味噌シフォンケーキが商品化された。	4
	市民サービス	新たな商品開発と収益向上の取組により、女性や高齢者の労働意欲、生きがいづくりにつながった。	
効率性	手段の最適性	「相生市における6次産業化及び地産地消を推進するための戦略」に基づき、計画的な事業実施を図った。	4
	コストの節減	国・県の補助事業を活用することで、市の費用負担を減らし、効率的な事業実施に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成30年度より新たに「野瀬かんぴょう」の栽培・育成に取り掛かるなど、概ね順調である。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	安定的な原材料を確保する。



配点	32.5
総合評価	26

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	商品の売り上げは拡大傾向であり、生産拡大に向けた経営体の組織強化を図る。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	6次産業化に取り組む事業者の育成により、雇用の創出につなげることで地域農業の活性化を図る
見直し事項	PRの機会やPRの手法を確保することで効率的にPR活動をおこなう
新規事項	
方向	継続   成果   拡大   総コスト   維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010300		事業の種類	1				
年度	1	事務事業名	商工業対策事業		予算事業名	商工業対策事業		優先度	3	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課				
		施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	中谷 有輝	
		取組み事項	魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	県下の特産商工業者								
	誰(何)を対象として	兵庫県物産協会が行う特産商工業振興事業								
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域産業を振興することにより、活力ある豊かな地域経済を形成し、県民の生活向上を実現する。								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県物産協会の運営に対し、県下市町が負担金を支出することにより運営に共同参画する。								
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画				
	兵庫県物産協会負担金		円	25000	25000	26000	26000			

## 3 投入資源

		会計区分			一般会計			事業費単位:円	
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.104	0.104	100	0.104	100	0.104	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,173,784	1,142,876	97	1,143,269	100	1,129,149	99	
	事業費	25,000	28,880	116	28,680	99	35,000	122	
	合計	1,198,784	1,171,756	98	1,171,949	100	1,164,149	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,198,784	1,171,756	98	1,171,949	100	1,164,149	99	
合計		1,198,784	1,171,756	98	1,171,949	100	1,164,149	99	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		県物産協会販売状況							
指標説明(式)		ひょうごふるさと館内に設置しているイベントコーナー3か所での販売日数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
点	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0	1000	100.0	
	実績	1089	1089	100.0	1089	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

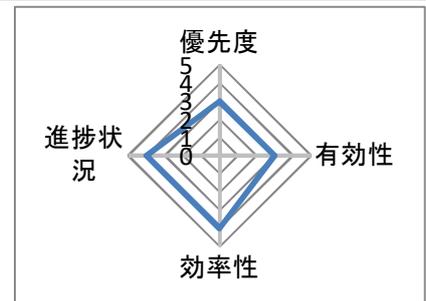
指標名1		製造品出荷額における県内ウエイト							
指標説明(式)		兵庫県物産協会年度会費積算基礎							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	2.56	2.33	91.0	2.33	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市町・各種団体・企業等が協働で行うスケールメリットを活かし、県下はもとより広く全国に兵庫県の物産を宣伝紹介するとともに、販売促進及び販路拡事業に取り組み、特産商工業の振興発展に寄与している。	3
効率性	負担割合の適正化	財政規模に応じた負担となっている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各市町、財政規模に応じた負担となっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	財政負担が厳しくなっているため、効率的な運営を行うように求めていく必要がある。



配点	25
総合評価	17

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	協会の活動内容に理解を深め、関係性を強めていくことが重要である。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010400		事業の種類	3	
年度	1	事務事業名	地場産業振興センター事業		予算事業名	地場産業振興センター事業	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
		施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文	
		取組み事項	魅力ある商業集積を図る		担当者名	中谷 有輝	
					実施計画への記載	無	
					主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	西播磨の地場産業関連企業					
	誰(何)を対象として	(公財)姫路・西はりま地場産業センター					
	意図(どのような状態にしたいのか)	西播磨の地場産業の健全な育成及び発展に貢献し、活力ある地域経済社会の形成、地域住民の生活向上及び福祉の増大に寄与すること。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		西播磨の地場産業業者等に対する支援機関である姫路・西はりま地場産業センターの運営に対し、姫路市を中心に関係市町が負担金を支出することにより支援を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	地場産業振興センター事業負担金	円	284000	284000	284000	283000

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.028	100	0.028	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	587,216	577,892	98	581,629	101	559,377	96	
	事業費	284,000	284,000	100	284,000	100	283,000	100	
	合計	871,216	861,892	99	865,629	100	842,377	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	871,216	861,892	99	865,629	100	842,377	97	
合計	871,216	861,892	99	865,629	100	842,377	97		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		特産品販売所播産館の売上							
指標説明(式)		売上高(千円)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	50000	50000	100.0	50000	100.0	50000	100.0	
	実績	54961	57827	105.2	57266	99.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

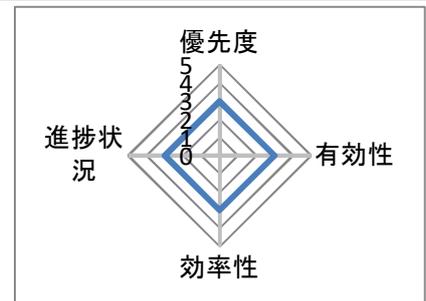
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	中・西播磨の特産品をPRしており、それぞれの地域に与える影響や売上額、誘客にもつながっている。また、販売実績等もある程度確保しており、目的は達成している。	3
	期待する目標		
効率性	手段の最適性	平成23年度より分担割合を見直し、コストの削減が図られた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	人口比率による応分負担である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	販売する地場産品の数が自治体毎にばらつきがあり、当市は少ない方である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	売上高による負担割合が適切かどうか検討する。

配点	25
総合評価	15

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010500		事業の種類	5			
年度	1	事務事業名	商業共同施設補助事業		予算事業名	優先度		3	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
		施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	中谷 有輝
		取組み事項	魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生市共同施設補助金交付規則							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内商店街組織							
	誰(何)を対象として	商店街共同施設							
	意図(どのような状態にしたいのか)	商業の活性化							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の商業者が組織する団体で共同施設(街路灯、カラー舗装、アーケード等)を設置する者に対し、設置に対する費用を補助し、商業振興を図る。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
			688512	0	0	0

## 3 投入資源

		会計区分							事業費単位:円
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.004	0.004	100	0.004	100		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	401,984	399,476	99	404,269	101	349,461	86	
	事業費	688,512		0		-		-	
	合計	1,090,496	399,476	37	404,269	101	349,461	86	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,090,496	399,476	37	404,269	101	349,461	86	
合計		1,090,496	399,476	37	404,269	101	349,461	86	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助件数							
指標説明(式)		件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	2	0	0.0	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

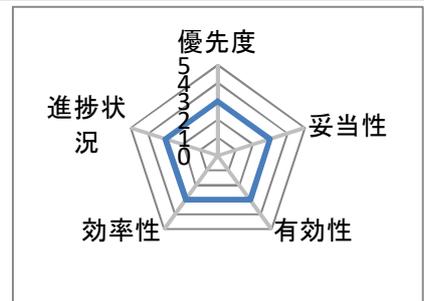
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	商店街のハード面の整備に支援を行うことは、商店街の活性化を図るのに有効である。	3
効率性	負担割合の適正化	補助率(補助対象経費の1/3以内、限度額2,000万円)は適正と考える。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	県の随伴事業であり、29年度はほんまち商店街にLED街路灯55基を設置、相生駅前商店街にLED街路灯13基を設置するのに補助を行った。30年度は補助申請なし。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	商店街は、人の流れにより徐々に形成されてきたもので、人の流れが少なくなった今、現状を維持することも難しい状況にある。



配点	32.5
総合評価	19.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	ハード整備の補助としての役割を担っているので、事業の継続は必要である。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010600		事業の種類	1		
年度	1	事務事業名	地域振興事業		予算事業名	地域振興事業		優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る			担当課長	松本 秀文	担当者名	中谷 有輝
取組み事項		魅力ある商業集積を図る			実施計画への記載	主要事業の指定		
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	低所得者、子育て世帯						
	誰(何)を対象として	低所得者、子育て世帯						
	意図(どのような状態にしたいのか)	消費税引き上げに伴う低所得者、子育て世帯の消費に与える影響の緩和						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		25%のプレミアム付商品券を販売し、消費税増税に伴う低所得者、子育て世帯の消費に与える影響を緩和する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	商品券販売数	冊	-	-	15192	-

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.028	-	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員			-	0.088	-	0.740	841	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		369,740	-	1,025,029	277	5,897,241	575	
	事業費		0	-	95,002,249	-		0	
	合計		369,740	-	96,027,278	25,972	5,897,241	6	
財源内訳	国庫支出金			-	34,446,800	-		0	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-	60,768,000	-		0	
	一般財源		369,740	-	812,478	220	5,897,241	726	
合計		369,740	-	96,027,278	25,972	5,897,241	6		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		商品券販売数							
指標説明(式)		冊数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	-	-	-	8800	-	-	-	
	実績			-	15192	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

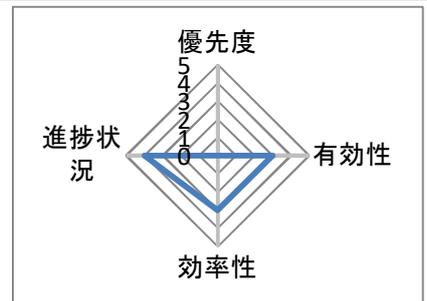
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	地域振興課だけで行える事業でないため、庁内担当部署の協力が必要である。	3
効率性	執行体制の効率性	販売対象者の把握には担当部署の協力が必要である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに事業を実施できた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	事業を円滑に行える体制づくりが必要。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	今後同様の事業を実施するにも、庁内他部署の協力が必要である。

配点	25
総合評価	10

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向	廃止	成果		総コスト

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010700		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	商店街空店舗等活用事業		予算事業名	商店街空店舗等活用事業	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
		施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文	
		取組み事項	魅力ある商業集積を図る		担当者名	中谷 有輝	
					実施計画への記載	無	
					主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市商店街空き店舗等活用事業補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の商業者					
	誰(何)を対象として	新規に市内商店街の空店舗で事業をされる商業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	新規開業より3年間家賃補助を行うことで、開業時の負担軽減を図り新規創業を促す。また、商店街への新規出店を促し、商店街の活性化に繋げる。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市内商店街の振興と創業支援を図るため、市内5商店街で空き店舗を借り上げ出店する者に対し、予算の範囲内において経費の一部を対象に補助金を交付する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	新規開業者(補助)	店	1	1	1	1
	出店維持数	店	16	16	16	17
	商店街店舗数(旭)	店	217	217	214	214
	商店街空店舗(旭)	店	71	77	83	82

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.104	0.104	100	0.104	100	0.104	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,173,784	1,142,876	97	1,143,269	100	1,129,149	99	
	事業費	1,122,000	909,000	81	596,000	66	1,272,000	213	
	合計	2,295,784	2,051,876	89	1,739,269	85	2,401,149	138	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,295,784	2,051,876	89	1,739,269	85	2,401,149	138	
合計	2,295,784	2,051,876	89	1,739,269	85	2,401,149	138		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規出店数							
指標説明(式)		数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
店	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0			
指標名2		旭地区3商店街の空き店舗率							
指標説明(式)		空き店舗数÷旭3商店街(中央通り商店会、本町商店街、旭センター街)店舗数×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	30	30	100.0	30	100.0	30	100.0	
	実績	32.7	35.5	108.6	38.9	109.6			

【効率性】

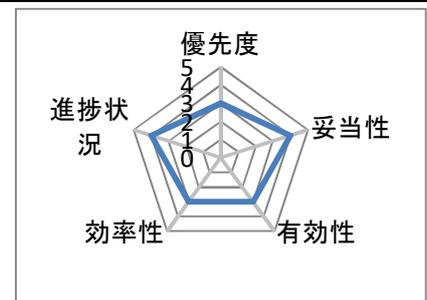
指標名1		補助店舗の営業継続率							
指標説明(式)		営業継続店舗数÷補助店舗×100							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	81.8	73.9	90.3	70	94.7	70	100.0	
	実績	72.7	69.6	95.7	66.7	95.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	多額の資金を要する開業時に家賃を補助することで、創業希望者の開業意欲の向上を図り新規創業を促すための事業であるが、毎年実績をあげており一定の効果が認められる。	3
	成果目標(改善)達成度	商店街の空き店舗解消の面では、新規出店数1件が既存店舗の廃止件数6件を下回る状況にあり目標達成に至っていない。	
効率性	負担割合の適正化	今後、利用状況等を検討したうえで、補助限度額、補助期間の見直しを図る必要がある。	3
	手段の最適性	空き店舗対策について抜本的な対策がない中、空き店舗の増加を止める手段としては最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	1件の新規補助者があった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	大店舗化、ネット購買、駐車場問題、人口減少等により商店街が衰退する中、商店街での営業は困難であり、出店を促すことも難しい。



配点	32.5
総合評価	22

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	空き店舗バンクを活用し、新規創業者へ情報提供することで最善となる店舗への出店を促し、成果に繋げる。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	商店街自体の魅力向上や特徴作りも必要であり、創業支援と商店街振興の両面から事業検討をしていく必要がある。				
見直事項	制度自体は当面継続が必要と考えるが、補助要件については実施状況に応じて見直していく必要があると考える。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010800		事業の種類	5				
年度	1	事務事業名	まちの駅推進事業		予算事業名	まちの駅推進事業		優先度	-	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課				
		施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	中谷 有輝	
		取組み事項	魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
		実施計画事業名								
		根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客								
	誰(何)を対象として	市民・観光客								
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		地域住民や、来訪者が求める地域の情報を提供する機能を備え、人と人の出会いと交流を促進する。また、まちづくりの拠点となり、まちとまちをつなぐ役割を有する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	加盟数	店	20	20	20	-

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.060	0.060	100	0.060	100		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	834,192	815,780	98	818,109	100	349,461	43	
	事業費	294,000	291,000	99	288,000	99		0	
	合計	1,128,192	1,106,780	98	1,106,109	100	349,461	32	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,128,192	1,106,780	98	1,106,109	100	349,461	32	
合計	1,128,192	1,106,780	98	1,106,109	100	349,461	32		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		まちの駅加盟店数							
指標説明(式)		まちづくりの拠点となるまちの駅加盟店舗数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
店	目標	20	20	100.0	20	100.0	-	-	
	実績	20	20	100.0	20	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

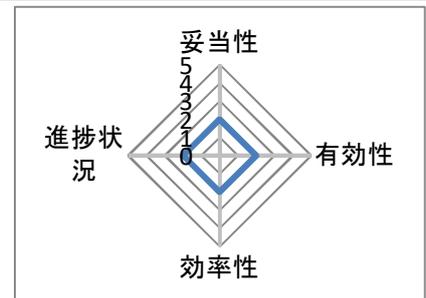
指標名1		小学校区あたりのまちの駅設置率							
指標説明(式)		まちの駅の数/小学校区の数7							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
店	目標	2.85	2.85	100.0	2.85	100.0	-	-	
	実績	2.85	2.85	100.0	2.85	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	まちの駅を利用し、人との出会いの場となるよう努めた。	2
効率性	手段の最適性	まちの駅間でネットワーク化し、お互いの情報交換をする場、手段を構築するように努めた。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	まちの駅ネットワークを拠点としたまちづくりを進めることが出来た。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	これまでの取り組みにより当初の目的は達成された。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	これまでの取り組みにより当初の目的は達成された。

配点	32.5
総合評価	9

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向	完了	成果		総コスト

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202010900		事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	商店街活性化事業		予算事業名	商店街活性化事業	優先度	3
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
		施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	中谷 有輝
		取組み事項	魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	商店主						
	誰(何)を対象として	商店主						
	意図(どのような状態にしたいのか)	商店主に将来的な商店街のあり方について調査し、市、商工会議所、商店連合会とが連携しながら商店街の方向性を協議し、今後の事業の計画を立案する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		商店主に調査を行い、商店街の将来的な状況を予測し、今後の事業の計画を立案する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	商店連合会加盟数	店	117	112	105	110	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.132	0.132	100	0.132	100	0.132	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,389,888	1,351,028	97	1,350,189	100	1,339,065	99	
	事業費	150,000	150,000	100	150,000	100	150,000	100	
	合計	1,539,888	1,501,028	97	1,500,189	100	1,489,065	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,539,888	1,501,028	97	1,500,189	100	1,489,065	99	
合計	1,539,888	1,501,028	97	1,500,189	100	1,489,065	99		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		商店連合会加盟店舗数							
指標説明(式)		店							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	119	120	100.8	115	95.8	110	95.7	
	実績	117	112	95.7	105	93.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

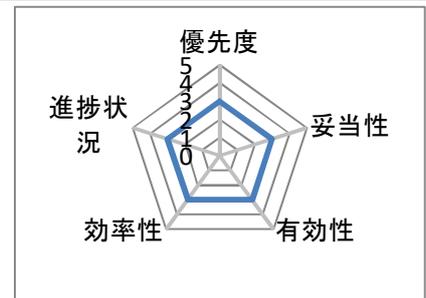
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	商店主に調査を行い、商店街の将来的な状況を予測し、今後の事業の計画を立案する	3
効率性	手段の最適性	市内の商店街の状況把握及び支援を行っている商工会議所に事業を委託することは最も適している	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	商店主へのアンケート結果に基づいた空き店舗バンクHP作成と更新	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	商店街空き店舗補助も合わせて、適切な広報を行っていく必要がある。



配点	32.5
総合評価	19.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	空き店舗を必要としている方の把握とそれに対する広報方法の検討

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202020100		事業の種類	5			
年度	1	事務事業名	商工会議所振興事業		予算事業名	商工会議所振興事業		優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る			担当課長	松本 秀文		担当者名	中谷 有輝
取組み事項		事業者による経営革新的な取り組みを支援する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の商工業者							
	誰(何)を対象として	相生商工会議所							
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内商工業に円滑な経営の補助活動を行う商工会議所の運営に対し補助を行うことで、市内経済の安定・発展に努める。							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生商工会議所事業である地域中小企業経営強化、商業活性化対策事業、産業技術大学相生教室事業、景気動向調査等に対し補助を行う。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	会員数(個人)	件	330	313	307	350	
	会員数(法人)	件	352	349	359	370	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.052	0.052	100	0.052	100	0.052	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	772,448	756,308	98	758,989	100	739,305	97	
	事業費	6,259,000	6,196,000	99	6,133,000	99	6,071,000	99	
	合計	7,031,448	6,952,308	99	6,891,989	99	6,810,305	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	7,031,448	6,952,308	99	6,891,989	99	6,810,305	99	
合計	7,031,448	6,952,308	99	6,891,989	99	6,810,305	99		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		会員数(個人)							
指標説明(式)		件							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	370	350	94.6	350	100.0	350	100.0	
	実績	330	313	94.8	307	98.1			
指標名2		会員数(法人)							
指標説明(式)		件							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	370	370	100.0	370	100.0	370	100.0	
	実績	352	349	99.1	359	102.9			

【効率性】

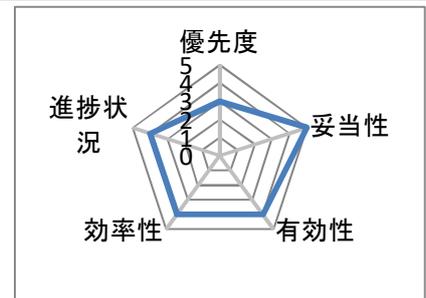
指標名1		会員あたりの補助金額							
指標説明(式)		補助金額/会員数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	8458	8606	101.7	8518	99.0	8431	99.0	
	実績	8941	9360	104.7	9208	98.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	景気低迷が長期に亘る状況下において、これを克服すべく様々な事業に取り組んでいる。	4
効率性	手段の最適性	市内商工事業の状況及び支援方法に精通する、商工会議所を通じて支援を行うことが最も適している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	厳しい経済状況を反映し、会員数は微減を続けているが、商工業者支援の様々な事業に取り組んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	商工会議所の職員が不足状態であり、円滑な運営に支障が出ている。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	商工会議所の経営努力を促し、会員へのサービス維持、向上に努める。

配点	32.5
総合評価	25.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040202020300		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	創業支援事業		予算事業名	創業支援事業		優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る			担当課長	松本 秀文	担当者名	中谷 有輝	
取組み事項		事業者による経営革新的な取り組みを支援する			実施計画への記載	無	主要事業の指定		
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の創業希望者							
	誰(何)を対象として	市内の創業希望者							
	意図(どのような状態にしたいのか)	新しい事業のアイデアや意欲を持つ者に対して、関係する機関が連携し、適時の専門的相談や情報の提供、セミナーの開催等、総合的な創業支援を行い、創業の促進を図る。							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市、相生商工会議所、国民政策金融公庫、NPO法人ひと・まち・あーとの4社と市内金融機関で「相生市創業支援ネットワーク」を構築し、支援の連携と情報の共有により効果的に創業者を支援する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	創業相談者数	人	8	8	16	10	
	創業者数	人	3	2	2	5	
	創業塾受講者延人数	人	23	11	11	50	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.100	100	0.100	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,142,912	1,113,140	97	1,113,709	100	1,099,161	99	
	事業費	928,500	527,120	57	515,320	98	511,000	99	
	合計	2,071,412	1,640,260	79	1,629,029	99	1,610,161	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,071,412	1,640,260	79	1,629,029	99	1,610,161	99	
合計	2,071,412	1,640,260	79	1,629,029	99	1,610,161	99		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		創業塾受講者延人数							
指標説明(式)		人							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	23	11	47.8	11	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

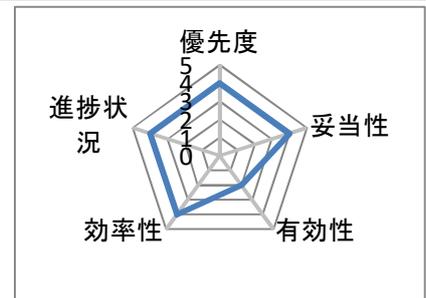
指標名1		創業塾受講者延人数あたりの補助金額							
指標説明(式)		補助金額/受講者延人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	10000	10000	100.0	10000	100.0	10000	100.0	
	実績	21739	45454	209.1	45454	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	創業塾の受講者が目標に達しておらず、実施時期や実施メニューなど創業希望者が参加しやすい設定の検討が必要である。	2
効率性	手段の最適性	市内の商工業の状況及び支援方法に精通する関係団体と連携し、創業者支援を行うことは最適である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	厳しい経済状況の中であるが、多くの創業相談を行い、創業者支援を行っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	創業相談から創業塾の受講へと繋がるような事業展開が必要



配点	32.5
総合評価	24

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	創業塾の内容を精査し、開催時期時間も調整のうえニーズに合ったセミナーを開催していく必要がある。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	市内創業の支援とともに、播磨圏域連携中枢都市圏の連携を活用し、より市場の大きい姫路市等での中規模・多様な業種での創業を支援する取り組みが必要である。
見直し事項	播磨圏域中枢都市圏との連携強化
新規事項	
方向	継続   成果   維持   総コスト   維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203010100		事業の種類	5			
年度	1	事務事業名	観光協会推進事業		予算事業名	観光協会推進事業		優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る			担当課長	松本 秀文		担当者名	中谷 有輝
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客							
	誰(何)を対象として	市民・観光客							
	意図(どのような状態にしたいのか)	観光関係団体への補助を通して、相生市の観光PR活動を促進していく							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		観光事業を実施する観光協会の各種事業の補助金とみなとの女王の選出及び活用についての運営費への補助。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	観光客数	人	636751	615600	606867	640000
	観光協会会員数	個人・団体	208	211	204	230

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.168	0.196	117	0.192	98	0.180	94	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,667,736	1,826,804	110	1,793,589	98	1,698,921	95	
	事業費	2,950,000	2,950,000	100	2,950,000	100	2,950,000	100	
	合計	4,617,736	4,776,804	103	4,743,589	99	4,648,921	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,617,736	4,776,804	103	4,743,589	99	4,648,921	98	
合計	4,617,736	4,776,804	103	4,743,589	99	4,648,921	98		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		観光客数							
指標説明(式)		観光客数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	640000	640000	100.0	640000	100.0	640000	100.0	
	実績	636751	615600	96.7	606867	98.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

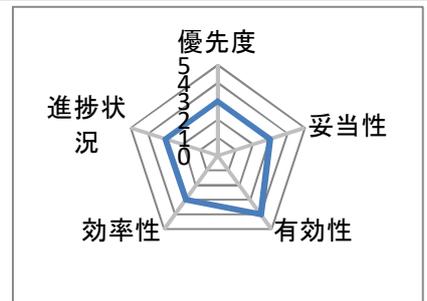
指標名1		相生市観光協会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
部	目標	230	230	100.0	230	100.0	230	100.0	
	実績	208	211	101.4	204	96.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
団体	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	観光協会発信のSNSが効果的に機能し、閲覧者やフォロワーが増加している。	4
効率性	手段の最適性	市外の観光キャンペーンに積極的に参加した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	SNSによる情報発信を積極的に行った。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	相生ペーロン海館、相生駅前総合情報発信施設整備に伴う、人員の確保と要請が必要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	各施設における人員配置等、運営体制の把握に努める。

配点	32.5
総合評価	20.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203010200		事業の種類	5				
年度	1	事務事業名	観光費事務経費		予算事業名	観光費事務経費		優先度	3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課				
施策名(中)		観光の振興を図る			担当課長	松本 秀文		担当者名	中谷 有輝	
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客・観光協会員								
	誰(何)を対象として	市民・観光客・観光協会員観光協会員								
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市観光協会の円滑な運営と、相生市の観光PR活動の促進を図る。								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市における観光事業の振興を図ることと共に、効率的にPR効果を高めるため広域観光協議会に加盟し共同PRを図り、交流人口を増やすことで、市民文化の高揚、産業発展に寄与する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	観光協会会員数	個人・団体	208	211	204	230	

## 3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.156	0.156	100	0.160	103	0.160	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,575,120	1,529,444	97	1,557,109	102	1,548,981	99	
	事業費	1,622,620	1,365,008	84	1,177,380	86	1,579,000	134	
	合計	3,197,740	2,894,452	91	2,734,489	94	3,127,981	114	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,197,740	2,894,452	91	2,734,489	94	3,127,981	114	
合計	3,197,740	2,894,452	91	2,734,489	94	3,127,981	114		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市観光協会会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	230	230	100.0	230	100.0	230	100.0	
	実績	208	211	101.4	204	96.7			
指標名2		観光協会職員数(臨時)							
指標説明(式)		職員数(臨時職員1名 パート職員1名)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			

【効率性】

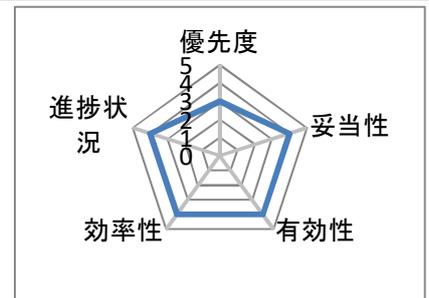
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	広域的な観光協議会を組織することは、重要である。	4
効率性	執行体制の効率性	交通の結末点であり、観光資源の乏しい当市にとって、広域的な協議会でPRに努めることで効率的に業務にあたることができる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なく進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	観光キャンペーンや駅前配布用のパンフレットを観光協会予算で増刷している。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	観光パンフレットの増刷を毎年することで、鮮度の高い情報を提供できるようになる。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203010400		事業の種類	3		
年度	1	事務事業名	観光PR推進事業		予算事業名	優先度		3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	中谷 有輝	
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		相生駅前案内所設置事業						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	SNS等で観光PRを行い、より多くの市民に情報を提供する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		デジタルコンテンツで観光PRを行うことで、より多くの方に情報を発信する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	ホームページアクセス数	件	66121	60890	53583	100000
	ブログアクセス数	件	36360	40440	21071	100000

## 3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.124	0.124	100	0.128	103	0.128	100	
	臨時職員			-	0.080	-	0.080	100	
支出内訳	人件費	1,328,144	1,291,556	97	1,524,629	118	1,426,037	94	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,328,144	1,291,556	97	1,524,629	118	1,426,037	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,328,144	1,291,556	97	1,524,629	118	1,426,037	94	
合計	1,328,144	1,291,556	97	1,524,629	118	1,426,037	94		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ホームページのアクセス数							
指標説明(式)		市内観光資源・店舗のPRに努めた。アクセス数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	105000	105000	100.0	100000	95.2	100000	100.0	
	実績	66121	60890	92.1	53583	88.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

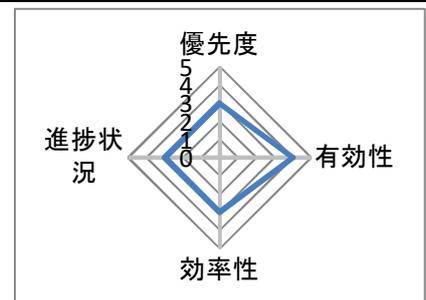
指標名1		観光協会ブログアクセス数							
指標説明(式)		ホームページよりタイムリーな情報発信を図る。アクセス数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	105000	105000	100.0	100000	95.2	100000	100.0	
	実績	36360	34050	93.6	21071	61.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	観光協会のホームページを活用し、相生市の観光情報を随時更新していくことで、広く観光PRを行う。	4
効率性	執行体制の効率性	ホームページでフォローしきれない即時的な情報をSNSを活用してタイムリーに発信する。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	SNSの活用により、きめ細かい情報発信が可能となっている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	定期的に新鮮な情報を提供できる体制づくりが必要



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	観光協会HPの更新年度であるため、業者等と連携し、よりよいHPを作成する。

配点	25
総合評価	16

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203010500	事業の種類	4
年度	1	事務事業名	相生市観・交・商連携型地域活性化事業	予算事業名	相生市観・交・商連携型地域活性化事業
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課
		施策名(中)	観光の振興を図る	担当課長	松本 秀文
		取組み事項	観光客を受け入れる体制を充実する	担当者名	中谷 有輝
		実施計画事業名		実施計画への記載	主要事業の指定
		根拠法規及び関連法規	相生駅前総合情報発信施設設置管理条例		
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の観光、交通、商業者及び市民のため			
	誰(何)を対象として	市民と当市を訪れる人			
	意図(どのような状態にしたいのか)	人口減に伴う市場縮小による市内商業、交通機能(事業者)等の存続危機に対応するため、観光と連携し交流人口(ビジネス・観光客等)を活用し産業と地域の活性化を図る。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		地域の交通拠点であるJR相生駅前の交通機能利用者(交流人口・市民)の利便・快適性を向上し適時の情報提供を行うことで、新たな商機を創出し地域の活性化につなげる。その起点施設として設置した「あいおい情報ラウンジ」を活用した広域的な情報発信を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	駅前施設の利用者	人/年	-	42900	44906	45000
	相生駅乗降客数	人/日	6993	6850	6579	6600
	神姫バス乗車人数	人/日	2,353	2298	2314	2400
	市内観光客推計人員	千人/年	637	616	607	640

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.940	0.620	66	0.520	84	0.508	98	
	臨時職員		0.080	-	0.120	150	0.120	100	
支出内訳	人件費	7,626,032	5,200,340	68	4,523,509	87	4,333,377	96	
	事業費	59,812,944	6,786,872	11	3,925,910	58	4,222,000	108	
	合計	67,438,976	11,987,212	18	8,449,419	70	8,555,377	101	
財源内訳	国庫支出金	25,000,000		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債	25,000,000		0		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	17,438,976	11,987,212	69	8,449,419	70	8,555,377	101	
合計	67,438,976	11,987,212	18	8,449,419	70	8,555,377	101		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生駅前総合情報発信施設運営協議会 開催回数							
指標説明(式)		※ 相生駅前総合情報発信施設運営協議会 施設の機能、運営事業等を協議する機関 (委員:交通事業者、商業者等8名)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	3	3	100.0	1	33.3	-	-	
	実績	3	0	0.0	0	-			
指標名2		あいおい相生情報ラウンジ来館者数							
指標説明(式)		年間来館者数(人) ※平成30年4月供用開始							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標		28,800	-	43000	149.3	45000	104.7	
	実績		42900	-	44906	104.7			

【効率性】

指標名1		あいおい情報ラウンジ来館者一人当たりコスト							
指標説明(式)		施設運営費(円)／年間来館者数(人)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標		173	-	160	92.5	93	58.1	
	実績		158	-	87	55.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	施設の設置にあたり、JR等交通事業者、駅前商店連合会、自治会等、各関係者で施設運営協議会を組織し、様々な立場の意見を聴取し協議を行い、事業運営や施設設計等に活かした。	4
	期待する目標	施設利用者の拡大を図るため、様々な利便サービスを検討し、それらの実施に向け調整を行う。	
効率性	執行体制の効率性	施設内で観光案内所を運営する相生市観光協会に施設の管理運営を委託し、同じく施設内で業務を行う交通事業者の協力も受け施設運営を行うことで人件費等の効率化を図る。	4
	手段の最適性	駅前が全面的に変わることによって相生市が良くなる印象を市民や交通機能利用者に強く与えるため、民間に協力依頼し、JRの駅舎改修や駅前広場駐車場の機械化等の投資を呼び起こし、駅周辺の利便快適性の向上を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成28年度に策定した相生市観・交・商連携型地域活性化計画に基づき、平成29年度に施設設置計画を取りまとめ、設計施工を行った。また、計画どおり、平成30年4月に施設を供用開始し現在順調に運営を行っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	少数のスタッフで効率的な運営を行っているが、施設の設置目的に応じた適切な管理や対応ができていないかの確認機能が必要である。



配点	32.5
総合評価	26

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	様々な利用者に対しての、それぞれのニーズに合った施設運営を行う。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	施設運営の目的でもある①駅前交通機能利用者の利便性の向上、②観光の振興、③駅前の賑わいづくり、④科学公園都市の玄関口としての機能について実効性のある取り組みを行う。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	拡大	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020100		事業の種類	5		
年度	1	事務事業名	相生ペーロン祭事業		予算事業名	相生ペーロン祭事業	優先度	4
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	中谷 有輝	
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		ペーロン新艇建造事業			ペーロン乗艇場整備			
		ペーロン100周年記念事業						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出するとともにペーロンを通じた地域の活性化を促進する						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市最大のイベント相生ペーロン祭を例年5月に開催する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	観光客	人	120000	120000	120000	120000
	ペーロン競漕参加チーム数	チーム	64	65	65	65

## 3 投入資源

インプット指標		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.840	0.968	115	1.344	139	0.720	54	
	臨時職員		0.080	-	0.084	105	0.090	107	
支出内訳	人件費	6,854,232	7,787,372	114	10,521,069	135	5,878,881	56	
	事業費	15,993,600	19,828,800	124	15,825,300	80	14,550,000	92	
	合計	22,847,832	27,616,172	121	26,346,369	95	20,428,881	78	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	22,847,832	27,616,172	121	26,346,369	95	20,428,881	78	
合計	22,847,832	27,616,172	121	26,346,369	95	20,428,881	78		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン祭観客数							
指標説明(式)		ペーロン祭の観客数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	120000	120000	100.0	120000	100.0	120000	100.0	
	実績	120000	120000	100.0	120000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

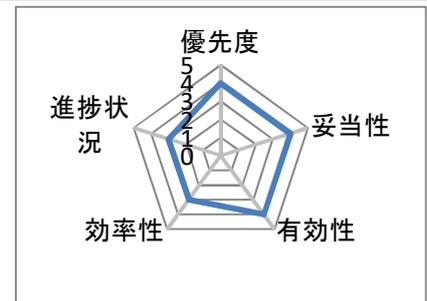
指標名1		ペーロン祭観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/観客数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	125	130	104.0	170	130.8	121	71.2	
	実績	133	165	124.1	131	79.4			
指標名2		ペーロンアドバイザー設置							
指標説明(式)		ペーロンアドバイザー設置経費							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	-	-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ペーロン祭を開催することで多くの観光客を相生市に誘致することができた。また、テレビ番組等で取り上げていただき、県外にも相生市のPRをすることができた。	4
効率性	コストの節減	前夜祭有料駐車場の設置や来場者へのペーロン祭募金を実施し財源確保に努めるものの、警察からの要請による警備員の増強等によりその経費が増加している。	3
	手段の最適性	露店出店者に係る暴力団対策事務の洗練	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きなトラブルもなく、計画通り実施出来た。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	警備費は、前年ベースで足りない箇所を補うため年々増加している。効果的な配置の検討が必要。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	警備員の適正配置を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	増加する警備費を補うため、花火大会の雨天延期ではなく中止にすることも含めた抜本的な改善の検討が必要な時期に来ている。				
新規事項					
方向	継続	成果	拡大	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020200		事業の種類	5	
年度	1	事務事業名	羅漢の里もみじまつり事業		予算事業名	羅漢の里もみじまつり事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	中谷 有輝
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		11月第2日曜日に矢野町瓜生の自然を利用したイベントとして、市民参加型のかかしコンテストやステージイベント、各種バザーなどを実施する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	観客数	人	12000	12000	12000	12000
	かがし出品数	体	1000	1000	1000	1000

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.476	0.512	108	0.552	108	0.520	94	
	臨時職員		0.200	-	0.208	104	0.160	77	
支出内訳	人件費	4,044,880	4,729,748	117	4,984,389	105	4,481,821	90	
	事業費	1,960,000	1,940,000	99	1,920,000	99	1,900,000	99	
	合計	6,004,880	6,669,748	111	6,904,389	104	6,381,821	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,004,880	6,669,748	111	6,904,389	104	6,381,821	92	
合計	6,004,880	6,669,748	111	6,904,389	104	6,381,821	92		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		もみじまつり観客数							
指標説明(式)		もみじまつり当日(土日)の観客							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	12000	12000	100.0	12000	100.0	12000	100.0	
	実績	12000	12000	100.0	12000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

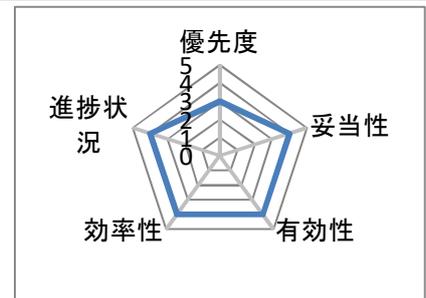
指標名1		もみじまつり観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)/観客数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	504	508	100.8	550	108.3	532	96.7	
	実績	500	555	111.0	575	103.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	メイン開催日が晴れたため、多くの来場者があった。	4
効率性	手段の最適性	大物芸能人頼みの集客から参加型ゲームを取り入れるなど、アットホームで趣向を凝らしたステージイベントに転換しコストを削減する。	4
	執行体制の効率性	イベントのコーナーを分散化し、それぞれの担当を各種団体をお願いすることで、市民団体のやる気等、モチベーションの向上につながった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	土曜の開催(バザー等の実施)がのんびりとした雰囲気イベントとして成立している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	多くの来場者に恵まれたが、イベント終了までにバザーの売り切れがあった。交通渋滞については適切な運営を行った。



配点	32.5
総合評価	24

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	来場者数の見込みを適切に見込んだ出店体制を整える必要がある。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020300		事業の種類	5			
年度	1	事務事業名	相生かきまつり補助事業		予算事業名	相生かきまつり事業		優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る			担当課長	松本 秀文		担当者名	中谷 有輝
取組み事項		交流の活性化を推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客							
	誰(何)を対象として	市民・観光客							
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の特産である牡蠣を全国にPRしていくため、焼き牡蠣コーナーや各種バザー、ステージイベントを実施する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	観客数	人	20000	20000	20000	20000	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.296	0.456	154	0.280	61	0.292	104	
	臨時職員		0.200	-	0.204	102	0.180	88	
支出内訳	人件費	2,655,640	4,313,444	162	2,964,109	69	2,801,745	95	
	事業費	686,000	680,000	99	673,000	99	666,000	99	
	合計	3,341,640	4,993,444	149	3,637,109	73	3,467,745	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,341,640	4,993,444	149	3,637,109	73	3,467,745	95	
合計	3,341,640	4,993,444	149	3,637,109	73	3,467,745	95		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		かきまつり観客数							
指標説明(式)		かきまつり当日の観客数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	20000	20000	100.0	20000	100.0	20000	100.0	
	実績	20000	20000	100.0	20000	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

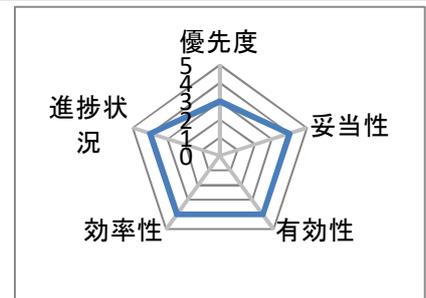
指標名1		かきまつり来場者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/来場者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	100	159	159.0	185	116.4	173	93.5	
	実績	167	249	149.1	182	73.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生牡蠣をPRする目的で実施するイベントとしては十分に役割を果たしている。	4
効率性	執行体制の効率性	相生牡蠣のブランドを高めることで、効率的に水産業の活性化を進めることが出来る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	全庁体制で、相生牡蠣のブランド化を進める必要がある	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	当日の天気により祭りの盛り上がりが左右される。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	スポンサーからの提供をさらに拡充させるべく、事前の交渉に力を入れる。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	来場方法の周知、牡蠣のPR				
見直事項	会場が屋外であり、天候に左右されるため、安定した運営のための対策				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020400		事業の種類	5			
年度	1	事務事業名	相生ペーロン振興事業		予算事業名	相生ペーロン振興事業		優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る			担当課長	松本 秀文		担当者名	中谷 有輝
取組み事項		交流の活性化を推進する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客							
	誰(何)を対象として	市民・観光客							
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		ペーロン文化の普及啓発と後継者育成のため市内小学生等を対象に体験乗船会を実施する。							
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画			
	体験乗船参加者数	人	2573	2625	2561	2500			

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.180	0.184	102	0.376	204	0.120	32	
	臨時職員		0.188	-	0.200	106	0.080	40	
支出内訳	人件費	1,760,352	2,258,168	128	3,663,349	162	1,366,061	37	
	事業費	550,000	550,000	100	550,000	100	650,000	118	
	合計	2,310,352	2,808,168	122	4,213,349	150	2,016,061	48	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,310,352	2,808,168	122	4,213,349	150	2,016,061	48	
合計	2,310,352	2,808,168	122	4,213,349	150	2,016,061	48		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		体験乗船参加者数							
指標説明(式)		こどもの日、前夜祭、市内の幼、小、中、高校生及び、市外の参加者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2500	2500	100.0	2500	100.0	2500	100.0	
	実績	2573	2625	102.0	2561	97.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		体験乗船実施回数							
指標説明(式)		こどもの日、前夜祭、市内の幼、小、中、高校及び、市外の実施回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	20	20	100.0	20	100.0	20	100.0	
	実績	19	18	94.7	17	94.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	申込のあった体験乗船を全て安全に実施することができた。	4
効率性	手段の最適性	体験乗船に係る費用等は、艇使用料・指導料(スタッフ)・警備艇の経費であり、コストは適正と考える。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	体験乗船のニーズが高まっているが、執行体制が固定化し、事業拡張できない状況である。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	協会や協力者が高齢化しており、平日での開催が困難な状況にある。



配点	32.5
総合評価	23

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	相生ペーロン海館運営部会にて体験乗船の運営自体の見直しを検討し、事業の拡張を図る。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直し事項	観光要素の高い体験乗船については、相生ペーロン協会から運営主体の見直しを検討していく必要がある。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020700		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	ペーロン海館管理事業		予算事業名	ペーロン海館管理事業	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
		施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名 中谷 有輝
		取組み事項	交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市立相生ペーロン海館の設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生ペーロンの振興のため、伝統文化の継承と交流の促進を図ることを目的とした相生ペーロンの拠点施設として設置し運営する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		①ペーロン艇(14艇)の管理、②ペーロンの練習・交流の場、③体験乗船会の実施 ④市民・観光客の見学観光施設、⑤拡張利用(他のマリンスポーツ利用、会議室等の貸館)				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	開館日	日	254	231	221	227
	ペーロン海館管理経費	円	3651249	3942365	3237662	3667000
	体験乗船会の実施	回	17	15	16	20
	体験乗船会の参加者	人	2912	2097	1981	3000

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.020	0.340	1,700	0.020	6	0.040	200	
	臨時職員			-	0.040	-	0.020	50	
支出内訳	人件費	525,472	2,897,300	551	624,509	22	678,581	109	
	事業費	3,651,249	3,942,365	108	3,237,662	82	3,667,000	113	
	合計	4,176,721	6,839,665	164	3,862,171	56	4,345,581	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,176,721	6,839,665	164	3,862,171	56	4,345,581	113	
合計	4,176,721	6,839,665	164	3,862,171	56	4,345,581	113		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン海館利用人数							
指標説明(式)		利用人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
日	目標	10000	12000	120.0	12000	100.0	12000	100.0	
	実績	9373	11543	123.2	9626	83.4			
指標名2		ペーロン海館一日当たりの利用者数							
指標説明(式)		利用人数/開館日							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	40	50	125.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	37	50	135.1	44	88.0			

【効率性】

指標名1		ペーロン海館利用者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		管理経費/利用者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
日	目標	108	393	363.9	284	72.3	305	107.4	
	実績	389	341	87.7	336	98.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ペーロン競漕の練習や体験乗船、観光客の見学などで多くの方が施設を訪れ、活用がなされている。	4
	市民サービス	拠点施設として整備したことにより、艇庫、交流の場、体験乗船への対応等を1か所にまとめることで、交流拠点としての機能を果たせた。	
効率性	執行体制の効率性	管理を相生市観光協会に委託しているが、見学者の受付や船の管理、クレーン等設備の操作について、ペーロンを熟知したペーロン協会員を雇用し運営することで効率的かつ生きた活用ができています。	4
	コストの節減	一括拠点施設としたことに伴い、それぞれの機能に付随する総経費の圧縮を図るため、体験乗船会の運営方法についてペーロン協会とともに協議し、費用面を考慮した新たな運営方法の検討を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	相生ペーロン海館の活用、体験乗船の運営について、ペーロン協会員で構成される相生ペーロン海館運用検討委員会を設け協議を行い、今後の活用の検討を図った。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	体験乗船の観光化やチーム同士の交流の場として、より多様な活用方法を検討する必要がある。



配点	32.5
総合評価	27.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	体験乗船について、マンパワーの確保等運営体制の強化と、体験者となる市外高等学校(新入生レク、修学旅行)や企業(新人研修等)へのPRの促進

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	相生ペーロン海館が相生の新たな交流拠点となるよう、活用や運営方法について協議していく。				
見直事項					
新規事項	相生ペーロンは、令和4年に100周年を迎える。相生ペーロンのさらなる振興を図るため、100周年記念事業や節目を迎えての新たな展開に対応していく。				
方向	継続	成果	拡大	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020800		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	道の駅管理運営事業		予算事業名	道の駅管理運営事業		優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課				
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文		担当者名	中谷 有輝	
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名		道の駅管理運営							
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客							
	誰(何)を対象として	市民・観光客							
	意図(どのような状態にしたいのか)	道の駅で市民・観光客の交流をし、賑わいの場となる。							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		道の駅白龍城((株)あいおいアクアポリス)に道の駅の管理運営を委託する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	道の駅管理経費	円	5444332	5328388	5353297	6522000	
	道の駅利用者数	人	146168	137146	125884	150000	
	白龍城全体利用者数	人	304141	293809	276618	300000	
	市内観光地入込客数	人	481251	460600	451867	480000	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.032	0.052	163	0.032	62	0.032	100	
	臨時職員			-	0.020	-	0.020	100	
支出内訳	人件費	618,088	756,308	122	662,189	88	618,605	93	
	事業費	5,491,332	5,375,388	98	5,400,297	100	6,569,000	122	
	合計	6,109,420	6,131,696	100	6,062,486	99	7,187,605	119	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,109,420	6,131,696	100	6,062,486	99	7,187,605	119	
合計	6,109,420	6,131,696	100	6,062,486	99	7,187,605	119		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		あいおい白龍城利用者中の道の駅利用者の割合 <新規指標>							
指標説明(式)		道の駅利用者 / 白龍城全体利用者							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	48	47	97.9	46	97.9			
指標名2		市内観光地入込客数における白龍城利用者の割合 <新規指標>							
指標説明(式)		白龍城全体利用者 / 市内観光地入込客数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	70	70	100.0	70	100.0	70	100.0	
	実績	63	64	101.6	61	95.3			

【効率性】

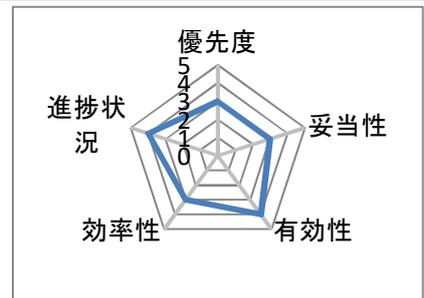
指標名1		道の駅利用者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		管理経費/道の駅利用者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40	40	100.0	40	100.0	40	100.0	
	実績	37	39	105.4	43	110.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設管理は、特産品売場、トイレ、情報コーナー、駐車場の道の駅の4機能について、白龍城を運営する(株)あいおいアクアポリスに委託することにより、施設全体の一貫性もあり、適正に実施できている。	4
	市民サービス	売場ブースについては多くの市民及び観光客が来場されるが、テント張りで衛生面に課題があり、老朽化が進んでいる。また、駐車場が狭いため大型バスが入れず、団体利用が少なく集客、収益に影響が出ている。	
効率性	コストの節減	維持管理にかかる委託料は、据え置かれているが、施設の老朽化に伴い改修経費が必要である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	維持管理委託契約に基づき適正に運営されている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	類似施設の台頭、施設の老朽化等により利用者数は減少傾向にある。老朽化対策等、衛生対策を講じ、利用者に対して心地よい空間を提供する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	道の駅として利用者が利用しやすい空間を提供、魅力ある施設とするため、計画的な改修が必要。衛生対策は急務である。

配点	32.5
総合評価	21.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	新たな道の駅の運営を実施していくにあたり、周辺商業施設との連携や旧ペーロン海館の活用方法の検討が必要。また、団体客の取り込みのための駐車場確保や飲食・物販の強化等が必要。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203020900		事業の種類	6		
年度	1	事務事業名	ペーロン海館建設事業		予算事業名	優先度		-
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	中谷 有輝	
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		新ペーロン艇庫建設						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	ペーロン船の格納場所としてだけでなく、ペーロン船の利用を促進し・見学する観光客・市民の憩いの場、新たな観光拠点とすること。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生港臨海部活性化基本計画に基づき新ペーロン艇庫を建設し、ペーロンの振興、観光拠点の整備を図る。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画

## 3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	1.128		0		-		-	
	臨時職員			-	0.020	-		0	
支出内訳	人件費	9,077,016	369,740	4	425,709	115	349,461	82	
	事業費	139,403,866		0		-		-	
	合計	148,480,882	369,740	0	425,709	115	349,461	82	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	148,480,882	369,740	0	425,709	115	349,461	82	
合計	148,480,882	369,740	0	425,709	115	349,461	82		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		説明会の回数							
指標説明(式)		地元説明会の開催回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	0	0	-	-	-	-	-	
	実績	0	0	-	-	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

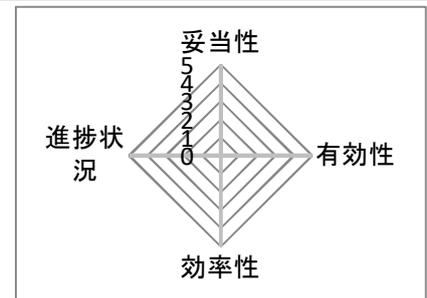
指標名1		設計委託に係るコンサル活用							
指標説明(式)		打合せ回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	10	0	0.0	-	-	-	-	
	実績	10	0	0.0	-	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	施設機能の充実を図り、相生の伝統文化であるペーロンの振興を図る。	
効率性	手段の最適性	指名入札により、業者選定を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	艇庫棟等の建設工事及び工事監理委託を行った。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向	完了	成果		総コスト

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203021000		事業の種類	9	
年度	1	事務事業名	第三セクター事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	企画総務部企画広報課	
		施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	松尾 次郎	担当者名 石井 義宏
		取組み事項	交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	白龍城等の利用者					
	誰(何)を対象として	第三セクター					
	意図(どのような状態にしたいのか)	健全経営の実現を求め、相生湾の観光・レクリエーションを促進し、にぎわいの場とする。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		健全経営の実現を求め、観光・レクリエーションを敷く新し、にぎわいの場の拠点とする。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	株式取得		4,000	-	-	-

## 3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.016	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	494,600	488,684	99	492,949	101	469,413	95	
	事業費			-		-		-	
	合計	494,600	488,684	99	492,949	101	469,413	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	494,600	488,684	99	492,949	101	469,413	95	
	合計	494,600	488,684	99	492,949	101	469,413	95	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン城入場者数							
指標説明(式)		ペーロン城(温泉・飲食・物販)への入場者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	400,000	400,000	100.0	400,000	100.0	400,000	100.0	
	実績	304,141	291,907	96.0	276,618	94.8			
指標名2		取締役会等への出席回数							
指標説明(式)		あいおいアクアポリス(株)の取締役として相生市が出席した回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	3	100.0		0.0		-	
	実績	4	4	100.0		0.0			

【効率性】

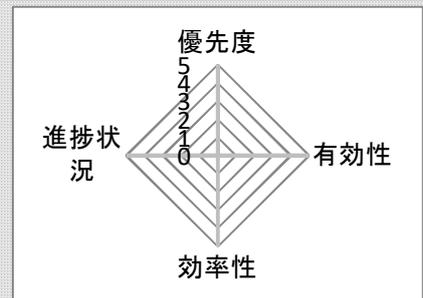
指標名1		入場者数等の報告回数							
指標説明(式)		温泉、飲食、物販に対する入場者数、売上額などの報告回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	12	12	100.0	12	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向	成果	総コスト		

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203021100	事業の種類	4
年度	1	事務事業名	ふるさと応援大使活用事業	予算事業名	ふるさと応援大使活用事業 優先度 3
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課
		施策名(中)	観光の振興を図る	担当課長	松本 秀文 担当者名 中谷 有輝
		取組み事項	交流の活性化を推進する	実施計画への記載	主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	全国の相生市を応援してくれる人々			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市に移住、定住、ふるさと応援寄付をしてくれる人を増やす。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		ふるさと応援大使(出水麻衣、みなとの女王OG、ど根性大根大ちゃん)の各自の働きにより、市の知名度を上げる。また、その活動の中で、市のイベントや特産品等のPRを行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	キャンペーン実施回数	回	2	2	2	2
	グランプリ順位	位	359	440	-	-

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.112	0.112	100	0.112	100	0.128	114	
	臨時職員			-	0.040	-	0.024	60	
支出内訳	人件費	1,235,528	1,202,348	97	1,304,389	108	1,344,165	103	
	事業費	330,805	353,380	107	486,000	138	346,000	71	
	合計	1,566,333	1,555,728	99	1,790,389	115	1,690,165	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,566,333	1,555,728	99	1,790,389	115	1,690,165	94	
合計	1,566,333	1,555,728	99	1,790,389	115	1,690,165	94		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		観光PRキャンペーンの回数							
指標説明(式)		回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	2	2	100.0	4	200.0	2	50.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			
指標名2		ゆるきゃらグランプリ ど根性大ちゃん順位							
指標説明(式)		順位							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	370	350	94.6	-	-	-	-	
	実績	359	440	122.6	-	-			

【効率性】

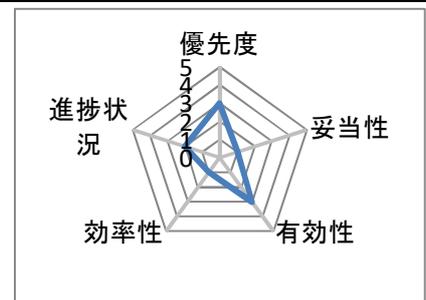
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	ど根性大根知名度アップを図ることで、相生市の知名度を上げる。	3
効率性	手段の最適性	ゆるキャライベントに参加することで、参加している方々に相生市をPRしていたが、昨年は参加していない。	1
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	ふるさと応援大使事業活動を徐々に広める。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	ど根性大根大ちゃんのゆるキャラ順位を指標としているが、参加していないため、指標の見直しが必要。



配点	32.5
総合評価	13.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	大ちゃんをより広域的に認知度を高めるための活動を行う。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203030100		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	ふるさと交流館管理事業		予算事業名	ふるさと交流館管理事業 優先度 4	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
		施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	長治 宏幸 担当者名 室井 良太	
		取組み事項	レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う		実施計画への記載	有 主要事業の指定 無	
		実施計画事業名	ふるさと交流館管理事業				
		根拠法規及び関連法規	相生市ふるさと交流館の設置及び管理に関する条例				
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域住民及び施設利用者					
	誰(何)を対象として	地域住民及び施設利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然環境、歴史学習、農林業体験等を通じて、市民の自主的な学習活動と多様な交流の促進及び教養、文化の高揚並びに地域の農業振興を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		ふるさと交流館において、田植え体験や芋掘り体験などの色々な活動を行うことと、都市と農村の交流を図ることにより、地域の活性化を図る。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	交流館利用者数	人	5,076	4,645	4581	5500

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.100	83	0.116	116	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,297,272	1,261,820	97	1,113,709	88	1,219,113	109	
	事業費	8,277,236	7,763,776	94	7,849,220	101	8,911,000	114	
	合計	9,574,508	9,025,596	94	8,962,929	99	10,130,113	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	9,574,508	9,025,596	94	8,962,929	99	10,130,113	113	
合計	9,574,508	9,025,596	94	8,962,929	99	10,130,113	113		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数							
指標説明(式)		施設利用者の人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	9,000	5,500	61.1	5,500	100.0	5,500	100.0	
	実績	5,076	4,645	91.5	4,581	98.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

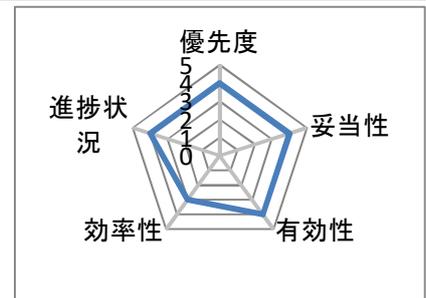
指標名1		来場者一人あたりの経費							
指標説明(式)		管理経費 ÷ 利用者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,500	1,500	100.0	1,500	100.0	1,500	100.0	
	実績	1,886	1,943	103.0	1,957	100.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者の増加や飲食収入の確保等により、施設での利益確保が図れた。	4
	市民サービス	アンケート調査の反映するなど食事メニューの定期的な見直しによりサービス向上を図った。	
効率性	コストの節減	利用率を上げ、コスト削減を行う必要がある。	3
	執行体制の効率性	、市への連絡・報告体制の強化や、利益を生み出す経営に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	指定管理者における運営は概ね良好である。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化に伴う、計画的な修繕の必要性及び予算化。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設及び設備の修繕計画の作成を検討する。

配点	32.5
総合評価	25

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	現在の指定管理者が効率的かつ有効的に施設運営をおこない、利用率等の向上を図ることができるよう、市との協力体制を強固なものにしていく				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	拡大	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040203030200		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	羅漢の里管理事業		予算事業名	羅漢の里管理事業 優先度 4	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	長治 宏幸		担当者名 松下 亮太
取組み事項		レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う		実施計画への記載	有		主要事業の指定 無
実施計画事業名		羅漢の里整備事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	羅漢の里の施設					
	意図(どのような状態にしたいのか)	羅漢の里を整備、管理し、憩いと安らぎの場の提供とともに、観光の振興に寄与する施設とする。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		羅漢の里の施設管理及び委託業務				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	利用者数(市民)	人	3906	3540	3030	
	利用者数(市外)	人	17440	20086	19797	
	整備箇所	箇所	4	5	5	
	整備事業費	円	2364120	8995320	3633518	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.040	0.108	270	0.148	137	0.148	100	
	臨時職員			-	0.020	-	0.020	100	
支出内訳	人件費	679,832	1,172,612	172	1,519,429	130	1,488,257	98	
	事業費	5,466,807	11,407,035	209	6,531,786	57	5,855,000	90	
	合計	6,146,639	12,579,647	205	8,051,215	64	7,343,257	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,146,639	12,579,647	205	8,051,215	64	7,343,257	91	
合計	6,146,639	12,579,647	205	8,051,215	64	7,343,257	91		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数							
指標説明(式)		コテージ、テント村等利用者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	22000	22000	100.0	22000	100.0	22000	100.0	
	実績	21346	23626	110.7	22827	96.6			
指標名2		稼働率(コテージ)							
指標説明(式)		年間利用件数÷359日×10棟							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	22	22	100.0	22	100.0	22	100.0	
	実績	24.5	26.8	109.4	26.0	97.0			

【効率性】

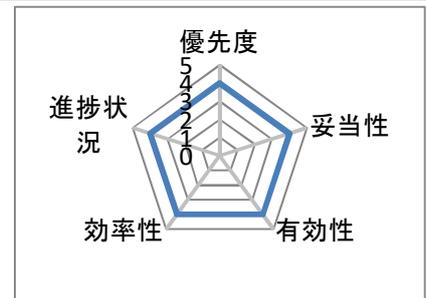
指標名1		利用者1人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費 ÷ 利用者							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	246	519	211.0	316	60.9	300	94.9	
	実績	278	483	173.7	286	59.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	指定管理者による自主事業が実施されることにより、更なる市民サービスの向上へと繋がっている。 また、コテージ等老朽化に伴う修繕について、適宜迅速に対応出来た。	4
	成果目標(改善)達成度	利用者数は、昨年より2,275人の減だが、コテージの稼働率は昨年より増となっている。	
効率性	コストの節減	平成29年度より、民間の指定管理者としているが、施設が老朽化しているためコスト縮減はこれからの課題である。	4
	手段の最適性	指定管理者制度によるサービス向上による、効率的な管理運営がされているため、引き続き指定管理者制度による運営を行う。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	老朽化施設の維持管理更新



配点	32.5
総合評価	26

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	アンケートによる、利用者ニーズにあった施設の運営管理

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	施設の長期的な更新計画				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	拡大

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040204010100		事業の種類	5		
年度	1	事務事業名	匠の技(造船技術)継承事業		予算事業名	匠の技(造船技術)継承事業		
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
		施策名(中)	地域に根ざした工業の強化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	中谷 有輝
		取組み事項	地域ものづくり基盤の強化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	造船関連企業従業員						
	誰(何)を対象として	造船関連企業従業員が必要とする高度な技術の習得						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の基幹産業である造船業を支えてきた団塊の世代が培ってきた貴重な経験や高い技術が、退職を機に失われることのないよう、新たな世代に継承する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生技能研修センターが実施する造船技術継承を目的とした専門技能研修への補助				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	研修受講者数(延べ)	人	223	206	202	230
	受講企業数(延べ)	社	46	25	19	30

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.020	0.020	100	0.020	100	0.020	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	525,472	518,420	99	522,509	101	499,401	96	
	事業費	200,000	200,000	100	200,000	100	200,000	100	
	合計	725,472	718,420	99	722,509	101	699,401	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	725,472	718,420	99	722,509	101	699,401	97	
合計	725,472	718,420	99	722,509	101	699,401	97		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生技能研修センター研修受講者数							
指標説明(式)		研修受講者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	286	250	87.4	240	96.0	230	95.8	
	実績	223	206	92.4	202	98.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

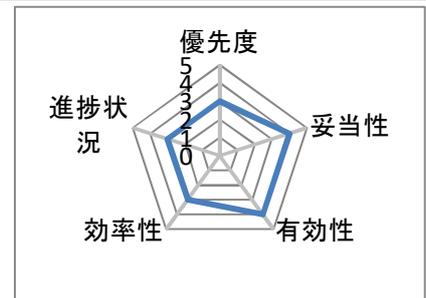
指標名1		受講者一人当たりに補助金							
指標説明(式)		総事業費÷総受講者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	699	800	114.4	833	104.1	870	104.4	
	実績	897	971	108.2	990	102.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	造船技能の継承は、相生の基幹産業を担うためには不可欠である。	4
効率性	負担割合の適正化	事業経費に占める県・市補助金の割合は、県6.2%、市3.4%である。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	会員企業のほか、会員以外の関連企業からも受講者を募り、技能の継承に積極的に取り組んでいる。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	IHIグループと相生商工会議所が主体的に実施している。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	現体制を維持した状態で運営していく。

配点	32.5
総合評価	22

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040204020100		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	中小企業小額資金融資事業	予算事業名	中小企業小額資金融資事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		地域に根ざした工業の強化を図る		担当課長	松本 秀文	担当者名	中谷 有輝
取組み事項		中小企業の経営改善強化に向けた支援をする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市中小企業小額資金融資要綱 相生市中小企業小額資金融資保証料補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の中小企業者					
	誰(何)を対象として	市内に事業所又は営業所を有する中小企業者のうち市税を完納し、原則として同一事業を1年以上引続き営んでいる者で、相生市中小企業小額資金融資を受けた事業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	信用保証手数料を補給することにより借手中小企業者の借入負担を軽減し、当該融資を活発化し、売上減少による影響及び倒産の防止を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市制度融資事務として、保証契約事務(信用保証協会)、金融機関との覚書の締結(指定金融機関)、融資申込み受付、融資依頼を行い、利子補給事務として、保証期間5年以内、保証金額1,000万円を限度に算出した保証協会の保証料を15万円(5年間で1回の申請のみ)を限度と					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	融資総額	千円	65500	18500	37500	40000	
	保証料補助額	円	938167	223817	232275	1200000	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.036	0.036	100	0.036	100	0.036	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	648,960	637,364	98	640,749	101	619,353	97	
	事業費	938,167	223,817	24	232,275	104	1,200,000	517	
	合計	1,587,127	861,181	54	873,024	101	1,819,353	208	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,587,127	861,181	54	873,024	101	1,819,353	208	
合計	1,587,127	861,181	54	873,024	101	1,819,353	208		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		市制度融資件数							
指標説明(式)		件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	6	10	166.7	10	100.0	10	100.0	
	実績	11	6	54.5	7	116.7			
指標名2		保証料補助件数							
指標説明(式)		件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	6	10	166.7	10	100.0	10	100.0	
	実績	10	4	40.0	5	125.0			

【効率性】

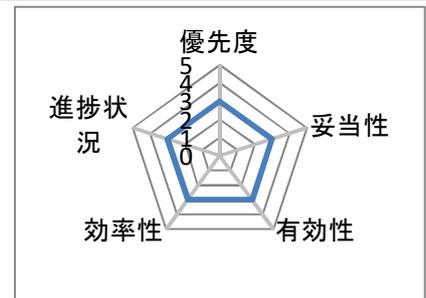
指標名1		1件当たりの保証料補助額							
指標説明(式)		保証料補助額/保証件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	150000	125000	83.3	100000	80.0	120000	120.0	
	実績	93817	55954	59.6	46455	83.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	計画数より融資件数、補助件数ともに減少傾向にある。	3
	市民サービス	市内の経済活性化は市行政に直結し、市民生活の向上に繋がる。	
効率性	手段の最適性	市内金融機関で融資利率を統一している。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画数より融資件数、補助件数ともに減少傾向にある。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	融資件数、補助件数ともに減少傾向にある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	市内金融機関の融資担当者と情報交換を行い、より中小企業者にとって利用しやすい制度設計を検討する。

配点	32.5
総合評価	19.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持